

# かわごえ子育てプラン（川越市次世代育成支援対策行動計画）

平成 2 1 年度の進捗状況（見込）及び前期計画達成状況（見込）

平成 2 2 年 5 月現在

川越市福祉部子育て支援課

## 《目次》

1. かわごえ子育てプラン体系図	1
2. 総括表	2～4
3. 重点施策の進捗状況及び達成状況（見込）	5～8
4. 目標事業量設定事業の前期計画達成状況	9
5. 事業別進捗状況	
(1) 基本目標 1	10～21
(2) 基本目標 2	22～29
(3) 基本目標 3	30
(4) 基本目標 4	31～33
(5) 基本目標 5	34～45
(6) 基本目標 6	46～54
(7) 基本目標 7	55～61

# 1. かわごえ子育てプラン体系図



## 2. 総括表

〔平成21年度末進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

〔前期計画達成状況〕 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

(単位:千円)

項 目	事業数 (実事業数)	平成21年度末の進捗状況					前期計画の達成状況					平成17年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度 予算額 〔決算額〕	平成19年度 予算額 〔決算額〕	平成20年度 予算額 〔決算額〕	平成21年度 予算額 〔決算見込額〕	備考
		A	B	C	D	E	a	b	c	d	e						
<b>基本目標1</b> 子どもと親の豊かな健康づくりの推進  多様化、複雑化する健康に関する諸問題を解決するため、健診・相談・指導体制の充実に努めます。	52 (52)	46 (46)	-	1 (1)	1 (1)	4 (4)	46 (46)	-	1 (1)	1 (1)	4 (4)	888,678 〔816,749〕	906,762 〔841,796〕	854,918 〔811,313〕	849,919 〔832,888〕	937,661	
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	2 (2)	1 (1)	-	-	1 (1)	-	1 (1)	-	-	1 (1)	-	306 〔306〕	561 〔487〕	561 〔396〕	495 〔215〕	495	
拡充事業	21 (21)	20 (20)	-	-	-	1 (1)	20 (20)	-	-	-	1 (1)	680,739 〔619,166〕	685,961 〔640,180〕	657,225 〔626,833〕	585,511 〔572,603〕	588,822	
継続事業	29 (29)	25 (25)	-	1 (1)	-	3 (3)	25 (25)	-	1 (1)	-	3 (3)	207,633 〔197,277〕	220,240 〔201,129〕	197,132 〔184,084〕	263,913 〔260,070〕	348,344	
<b>基本目標2</b> 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進  確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を育むため、市立学校の教育活動・教育環境等の整備・充実に努めます。	52 (49)	42 (40)	5 (5)	-	1 (0)	4 (4)	42 (40)	5 (5)	-	1 (0)	4 (4)	1,650,218 〔982,839〕	869,178 〔364,966〕	1,061,377 〔603,288〕	1,747,522 〔611,971〕	248,487	
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	7 (6)	3 (3)	2 (2)	-	1 (0)	1 (1)	3 (3)	2 (2)	-	1 (0)	1 (1)	1,595 〔1,444〕	1,595 〔1,545〕	1,573 〔1,523〕	1,573 〔1,538〕	1,573	
拡充事業	5 (5)	4 (4)	1 (1)	-	-	-	4 (4)	1 (1)	-	-	-	54,213 〔49,883〕	66,551 〔64,041〕	70,155 〔64,627〕	77,716 〔70,755〕	76,898	
継続事業	40 (38)	35 (33)	2 (2)	-	-	3 (3)	35 (33)	2 (2)	-	-	3 (3)	1,594,410 〔931,512〕	801,032 〔299,380〕	989,649 〔537,138〕	1,668,233 〔539,678〕	170,016	
<b>基本目標3</b> 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実  子育てをより楽しく充実したものにするため、子育てについて話し合い、学ぶ場や社会参画の機会の充実に努めます。	6 (2)	5 (1)	1 (1)	-	-	-	4 (0)	2 (2)	-	-	-	2,851 〔2,820〕	1,641 〔1,314〕	2,752 〔1,625〕	2,612 〔2,935〕	3,738	
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	2 (2)	1 (1)	1 (1)	-	-	-	-	2 (2)	-	-	-	2,851 〔2,820〕	1,641 〔1,314〕	2,752 〔1,625〕	2,612 〔2,935〕	3,738	
拡充事業	2 (0)	2 (0)	-	-	-	-	2 (0)	-	-	-	-	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0	
継続事業	2 (0)	2 (0)	-	-	-	-	2 (0)	-	-	-	-	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

〔平成21年度末進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

〔前期計画達成状況〕 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

(単位:千円)

項目	事業数 (実事業数)	平成21年度末の進捗状況					前期計画の達成状況					平成17年度 予算額 〔決算額〕	平成18年度 予算額 〔決算額〕	平成19年度 予算額 〔決算額〕	平成20年度 予算額 〔決算額〕	平成21年度 予算額 〔決算見込額〕	備考
		A	B	C	D	E	a	b	c	d	e						
<b>基本目標4</b> 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実  仕事と子育てを両立しやすい社会の実現のため、事業主等に対する啓発や、地域における子育ての相互援助活動の推進に努めます。	20 (9)	11 (6)	5 (2)	1 (0)	3 (1)	-	11 (7)	6 (2)	2 (0)	1 (0)	-	2,901 〔2,321〕	4,145 〔3,906〕	3,435 〔2,652〕	5,920 〔5,111〕	3,353	
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	4 (1)	1 (0)	2 (1)	1 (0)	-	-	-	3 (1)	1 (0)	-	-	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	10 〔10〕	10	
拡充事業	9 (1)	4 (0)	3 (1)	-	2 (0)	-	4 (0)	3 (1)	1 (0)	1 (0)	-	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0 〔0〕	0	
継続事業	7 (7)	6 (6)	-	-	1 (1)	-	7 (7)	-	-	-	-	2,901 〔2,321〕	4,145 〔3,906〕	3,435 〔2,652〕	5,910 〔5,101〕	3,343	
<b>基本目標5</b> 子育てを地域で支える仕組みの推進  子育てしやすい環境を整備するため、市民の多様な保育ニーズに応えとともに、保育所待機児童の解消に努めます。 また、家庭で子育てをしている母親の支援の充実に	68 (56)	49 (39)	7 (6)	4 (4)	7 (6)	1 (1)	48 (40)	9 (6)	8 (8)	3 (2)	-	2,529,670 〔2,484,821〕	3,036,564 〔2,966,236〕	3,499,549 〔3,452,507〕	3,598,224 〔3,558,229〕	3,765,676	
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	13 (10)	5 (3)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	-	2 (2)	3 (1)	6 (6)	2 (1)	-	0 〔0〕	620 〔459〕	620 〔447〕	620 〔446〕	620	
拡充事業	24 (22)	16 (15)	5 (4)	1 (1)	2 (2)	-	16 (15)	5 (4)	2 (2)	1 (1)	-	637,788 〔595,599〕	640,140 〔628,470〕	723,892 〔697,023〕	709,032 〔685,919〕	742,348	
継続事業	31 (24)	28 (21)	-	-	2 (2)	1 (1)	30 (23)	1 (1)	-	-	-	1,891,882 〔1,889,222〕	2,395,804 〔2,337,307〕	2,775,037 〔2,755,037〕	2,888,572 〔2,871,864〕	3,022,708	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

〔平成21年度末進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

〔前期計画達成状況〕 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

(単位:千円)

項 目	事業数 (実事業数)	平成21年度末の進捗状況					前期計画の達成状況					平成17年度 予算額 [決算額]	平成18年度 予算額 [決算額]	平成19年度 予算額 [決算額]	平成20年度 予算額 [決算額]	平成21年度 予算額 [決算見込額]	備考
		A	B	C	D	E	a	b	c	d	e						
<b>基本目標6</b> 要支援児童へのきめ細かな取組の推進  すべての子どもが健やかに成長することができるよう、児童虐待の防止や障害を持つ児童とその家庭等への支援策の充実を図ります。	33 (25)	30 (22)	2 (2)	-	-	1 (1)	30 (22)	1 (1)	1 (1)	-	1 (1)	1,214,842 [1,152,570]	1,258,908 [1,187,882]	1,218,917 [1,173,944]	1,262,457 [1,221,902]	1,354,045	
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	-	1 (1)	-	-	-	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0	
拡充事業	6 (2)	5 (1)	1 (1)	-	-	-	5 (1)	-	1 (1)	-	-	525 [917]	1,546 [1,410]	1,637 [1,508]	1,777 [1,801]	660	
継続事業	26 (22)	25 (21)	-	-	-	1 (1)	25 (21)	-	-	1 (1)	1,214,317 [1,151,653]	1,257,362 [1,186,472]	1,217,280 [1,172,436]	1,260,680 [1,220,101]	1,353,385		
<b>基本目標7</b> 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進  親子が安心して外出できるよう、公共施設等のバリアフリー化及び防犯対策の推進に努めます。	43 (40)	40 (37)	1 (1)	-	2 (2)	-	41 (38)	1 (1)	-	1 (1)	-	671,299 [603,505]	795,897 [759,396]	925,539 [905,314]	1,031,552 [920,112]	1,487,914	
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	0 (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	0	
拡充事業	4 (3)	4 (3)	-	-	-	-	4 (3)	-	-	-	-	32,611 [30,236]	88,682 [82,294]	251,285 [264,517]	515,230 [430,605]	980,920	
継続事業	39 (37)	36 (34)	1 (1)	-	2 (2)	-	37 (35)	1 (1)	-	1 (1)	-	638,688 [573,269]	707,215 [677,102]	674,254 [640,797]	516,322 [489,507]	506,994	
<b>&lt;合 計&gt;</b>	274 (233)	223 (191)	21 (17)	6 (5)	14 (10)	10 (10)	224 (193)	22 (17)	12 (10)	7 (4)	9 (9)	6,960,459 [6,045,625]	6,873,095 [6,125,496]	7,566,487 [6,950,643]	8,498,206 [7,153,148]	7,800,874	①事業数及び進捗状況、達成状況のカッコ内については、再掲事業を含めない実事業数を記載しております。
<b>【掲載事業の内訳】</b>																	
新規事業	29 (22)	11 (8)	8 (7)	4 (3)	5 (3)	1 (1)	8 (6)	9 (7)	7 (6)	4 (2)	1 (1)	4,752 [4,570]	4,417 [3,805]	5,506 [3,991]	5,310 [5,144]	6,436	②進捗状況及び達成状況(5段階評価)については、各所管課が評価を行っております。
拡充事業	73 (56)	55 (43)	10 (7)	1 (1)	4 (2)	1 (1)	55 (43)	9 (6)	4 (3)	2 (1)	1 (1)	1,405,876 [1,295,801]	1,482,880 [1,416,395]	1,704,194 [1,654,508]	1,889,266 [1,761,683]	2,389,648	
継続事業	172 (154)	157 (140)	3 (3)	1 (1)	5 (5)	8 (8)	161 (144)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	7 (7)	5,549,831 [4,745,254]	5,385,798 [4,705,296]	5,856,787 [5,292,144]	6,603,630 [5,386,321]	5,404,790	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

### 3. 重点施策の進捗状況及び達成状況(見込)

[平成21年度末進捗状況] A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了  
 [前期計画達成状況] a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

#### 基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

No.	事業名	目標	21年度末 進捗状況	前期計画 達成状況	所管課	遅れている理由
(1)-3	乳幼児健診	拡充	A	a	健康づくり支援課	
(1)-15	母親学級・両親学級	拡充	A	a	健康づくり支援課	
(1)-23	育児関連講座等への協力	拡充	A	a	健康づくり支援課	
(1)-24	未熟児・長期療養訪問指導	拡充	A	a	健康づくり支援課	
(1)-32	こども医療費の助成	拡充	A	a	医療助成課	
(2)-7	地域活動栄養士との協働	拡充	A	a	健康づくり支援課	

#### 基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

No.	事業名	目標	21年度末 進捗状況	前期計画 達成状況	所管課	遅れている理由
(2)-8	川越市教職員研修事業	拡充	A	a	教育研究所	
(2)-9	指導方法の工夫改善、小人数学級	拡充	A	a	教育指導課、学校管理課	
(2)-26	川越市子ども読書活動推進計画の策定・推進	新規	A	a	教育指導課	
(3)-5	家庭教育講座	拡充	A	a	中央公民館	
(3)-6	総合型地域スポーツクラブ	拡充	B	b	市民スポーツ課	2クラブの設置が実現したが、更なる新規設置は難しい状況にあるため。既存の組織による活動が定着しており、地域でのコーディネーターの育成が難しいため。

#### 基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

No.	事業名	目標	21年度末 進捗状況	前期計画 達成状況	所管課	遅れている理由
(2)-1	つどいの広場	新規	A	b	保育課	毎年度1~2箇所新規開設していったが目標箇所数に達していないため。
(2)-3	イベント等への参加促進	新規	B	b	子育て支援課	各課へイベント等の際の託児についての配慮を文書で通知したが、配慮についての内容だけではなく、ボランティアの活用方法等を周知する必要があるため。

基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

No.	事業名	目標	21年度末 進捗状況	前期計画 達成状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	育児休業取得等の推進・啓発	拡充	B	b	緊急地域経済対策室	育児休業取得等の推進を包括するような新しいワークライフバランスという概念が計画途中の平成19年度から提唱されたため、計画に十分対応しきれない部分があったため。
(1)-8	一般事業主との連絡協議会	拡充	B	b	子育て支援課	参加企業数が少ないため。

基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

No.	事業名	目標	21年度末 進捗状況	前期計画 達成状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	学童保育事業	拡充	A	a	教育財務課	
(1)-2	病後児保育事業	新規	C	c	保育課	1施設で事業を開始したが、箇所・人数とも目標事業量に比べ整備が遅れているため。
(1)-3	一時保育事業	拡充	B	b	保育課	目標箇所数は達成していないが、人数は達成しているため。
(1)-4	特定保育事業	新規	B	b	保育課	目標箇所数は達成していないが、人数は達成しているため。
(1)-5	地域子育て支援センター事業	拡充	B	b	保育課	適当な場所が見あたらず、前期目標の5箇所開設に至らなかった。国の補助金の再編により箇所数を変更した。
(1)-6	保育所による地域子育て支援事業	拡充	A	a	保育課	
(1)-8	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	B	b	保育課	依頼会員に対して提供会員が少なく、事業内容の周知と提供会員の増加を図る必要があるため。また、センター設置目標数が3箇所であるが増設できなかったため。
(2)-1	通常保育事業	拡充	C	c	保育課	目標事業量に比べ定員枠の整備が遅れているため。



(2)-2	延長保育事業	拡充	B	b	保育課	全ての認可保育所で実施しているが、目標事業量には達していないため。
(2)-3	統合保育事業	拡充	A	a	保育課	
(2)-4	土曜保育事業	新規	A	c	保育課	全園実施には至っていないため。
(2)-5	産休明け保育事業	新規	D	d	保育課	待機児童が多い中では家庭保育室との連携が必要であり、産休明け保育を実施すると、0～2歳を保育している家庭保育室の事業を圧迫してしまうため。
(2)-6	公立保育所の運営方法の検討	新規	D	c	保育課	保育サービスの質の低下を招かぬよう、他市の事例等を詳細に調査・研究していく必要があるため。
(2)-7	法人立保育所への支援	拡充	A	a	保育課	
(2)-9	認可外保育施設への助成制度	拡充	D	c	保育課	財政的な問題もあり、助成が困難なため。
(2)-13	保育サービス評価の仕組の導入検討	新規	B	c	保育課	法人園での実施ができなかったため。
(2)-14	認証保育所制度の検討	新規	C	c	保育課	家庭保育室制度、認定こども園制度との整合性を図る必要があるため。
(3)-18	地域子どもサポート推進事業	拡充	A	a	生涯学習課	
(5)-8	子育てネットワーク事業	新規	A	a	子育て支援課	
(6)-2	育児サークル支援	拡充	A	a	健康づくり支援課、保育課	

#### 基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

No.	事業名	目標	21年度末 進捗状況	前期計画 達成状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	育児家庭支援事業	拡充	B	c	健康づくり支援課、子育て支援課	関係課と協議が進んでいないため。
(1)-3	要保護児童対策地域協議会	拡充	A	a	子育て支援課	
(3)-12	肢体不自由児認可通園施設	新規	B	b	保育課	調査研究中のため。

#### 基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

No.	事業名	目標	21年度末 進捗状況	前期計画 達成状況	所管課	遅れている理由
(3)-4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	A	a	道路建設課、街路課、道路環境整備課	
(4)-1	交通安全教育	拡充	A	a	安全安心生活課	
(5)-1	川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策	拡充	A	a	安全安心生活課	

重点施策平成21年度末進捗状況(見込)集計表

	事業数	A 順調	B やや遅れている	C 遅れている	D 当該年度予定なし	E 終了
基本目標1	6	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標2	5	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標3	2	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標4	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標5	20	8 40.0%	6 30.0%	3 15.0%	3 15.0%	0 0.0%
基本目標6	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標7	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	41	23 56.1%	12 29.3%	3 7.3%	3 7.3%	0 0.0%

重点施策前期計画進捗状況(見込)集計表

	事業数	a 順調	b やや遅れている	c 遅れている	d 当該年度予定なし	e 終了
基本目標1	6	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標2	5	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標3	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標4	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標5	20	7 35.0%	5 25.0%	7 35.0%	1 5.0%	0 0.0%
基本目標6	3	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標7	3	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	41	21 51.2%	11 26.8%	8 19.5%	1 2.4%	0 0.0%

#### 4. 目標事業量設定事業の前期計画達成状況(見込)

事業名	計画スタート時 (平成17年4月)	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末 (達成状況見込)	前期計画 目標事業量
つどいの広場 (3-(2)-1)	0箇所	3箇所	5箇所	6箇所	7箇所	7箇所	10箇所
学童保育事業 (5-(1)-1)	1,824人	1,824人	1,850人	1,907人	1,901人	1,941人	2,082人
病後児保育事業(施設型) (5-(1)-2)	0箇所・0人	0箇所・0人	0箇所・0人	0箇所・0人	1箇所・3人	1箇所・3人	1箇所・10人
一時保育事業 ※1 (5-(1)-3)	6箇所・60人	6箇所・60人	11箇所・110人	11箇所・110人	11箇所・153人	13箇所・300人	24箇所・240人
特定保育事業 ※1 (5-(1)-4)							
地域子育て支援センター事業 (5-(1)-5)	4箇所	4箇所	6箇所	6箇所	6箇所	※4 3箇所	5箇所
保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6)	28箇所	30箇所	30箇所	33箇所	33箇所	33箇所	34箇所
通常保育事業 ※2 (5-(2)-1)	2,520人	2,520人	2,595人	2,595人	2,595人	2,635人	3,098人
延長保育事業 ※3 (5-(2)-2)	21箇所・532人	31箇所・832人	31箇所・817人	32箇所・896人	33箇所・927人	33箇所・1,020人	35箇所・1,090人

※1 「一時保育事業」と「特定保育事業」は一体化

※2 定員数

※3 公立保育所:登録児童について、定員90人以上は平均的な3歳児の配置基準の15人、90人未満は10人として、スポットは一律で3人として積算

・前延長と後延長の保育を実施しているため各定数を計上

民間保育所:各園に照会して受け入れ可能児童数を確認

・前延長と後延長の保育を実施している場合は各定数を計上

※4 国の補助金要件の再編により減少

## 5 事業別進捗状況及び達成状況(見込)

### (1)基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

#### 1-(1) 子どもと親の健康の確保・増進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	母子保健地域組織育成事業	拡充	A	保健推進員に対して、ブロック会議等の場を用いて市の母子保健事業の情報提供等を行い、保健推進員が地域で母子に関する活動を推進する際の支援をした。	a	毎年、保健推進員のブロック会議、研修会等で母子保健に関する情報や学びの場を提供し、保健推進員の地域での活動を支援した。	保健推進員研修会会議数 H17年度(3回) H18年度(3回) H19年度(4回) H20年度(1回) H21年度(4回)	健康づくり支援課
2	事故防止対策	継続	A	公民館の子育てサロンで事故防止に関する出前講座の実施、及び健康づくりスケジュールに事故防止啓発記事を記載。	a	乳幼児の事故防止対策については、様々な機会を通じて啓発活動を実施した。	H17:事故防止に関する教室の開催 6回 160組 H18:乳幼児の事故防止に関するパネルを作製し、児童館に掲示 H19:乳幼児の事故防止に関するポスターを作製し、市内保育園に配付 H20:事故防止啓発記事を広報に掲載、パネルを作製に児童館に掲示 H21:出前講座2回、健康づくりスケジュールに記事掲載	健康づくり支援課

3 乳幼児健診	拡充	A	<p>4か月・1歳6か月・3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達の両面から健診を行い、児の健康の保持増進、保護者の育児不安の解消を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4か月児健診(9月末までに24回) 該当児 1,381人 受診児 1,307人</li> <li>・1歳6か月児健診(24回) 該当児 1,488人 受診児 1,381人</li> <li>・3歳児健診(24回) 該当児 1,479人 受診児 1,299人</li> </ul> <p>従事者の資質向上として、3歳児健診視力検査及び視力に関する問題点に関する従事者研修会を11月に開催予定。</p>	a	<p>乳幼児健診については、これまでに4か月児健診に助産師、1歳6か月児健診に栄養士を新たに導入して、健診時の相談体制の充実を図り、また問診票を改正して育児不安の把握に努め、相談の際に役立ててきた。また21年度は3歳児健診における視力検査及び視力に関する相談体制をよりよいものにしていくため、県立埴保己一学園の協力を得ながら、具体的方法を検討している。</p>	<p>H17 ・4か月児健診(年間36回) 受診率 92.4% 該当児 2,715人 受診児 2,510人 ・1歳6か月児健診(48回) 受診率 93.7% 該当児 2,840人 受診児 2,660人 ・3歳児健診(48回) 受診率 87.5% 該当児 3,017人 受診児 2,639人 H18 ・4か月児健診(年間36回) 受診率 93.2% 該当児 2,788人 受診児 2,598人 ・1歳6か月児健診(48回) 受診率 93.8% 該当児 2,771人 受診児 2,600人 ・3歳児健診</p>	健康づくり支援課
4 乳幼児相談	拡充	A	<p>総合保健センター及び南文化会館において、乳幼児を対象とした相談を実施。</p>	a	<p>乳幼児を対象とした相談を実施し、育児不安の解消と保護者同士の情報交換の場を提供した。平成19年度より幼児相談に心理相談員を新たに導入。幼児及び保護者の精神発達面・メンタル面での相談に対応できるようにした。</p>	<p>H17:35回 2,019人 H18:36回 2,129人 H19:30回 1,959人 H20:30回 1,598人 H21:30回予定 1,700人</p>	健康づくり支援課
5 母乳育児相談	継続	E	<p>他の事業での対応、地域機関との連携を図り対応するため、19年度をもって終了とした。</p>	e	<p>他の事業での対応、地域機関との連携を図り対応するため、19年度をもって終了とした。</p> <p>母乳に関する相談の現在の対応 産婦・新生児訪問指導、4か月児健診時に、助産師等が母乳に関する相談に対応する。また川越地区助産師会等から地域の母乳育児相談を実施している機関の情報を収集し、必要な方に提供していく。</p>	<p>H17:18回 262人 H18:18回 311人 H19:18回 339人</p>	健康づくり支援課

6	電話による健康相談	拡充	A	子どもと母の健康に関する専用ダイヤル「もしも健康相談」の実施(保健師、栄養士、歯科衛生士等が対応) また、不妊・更年期等の女性相談に助産師等が対応した。	a	子どもと母の健康に関する専用ダイヤル「もしも健康相談」の実施の他、不妊・更年期等の女性相談に助産師等が対応した。	もしも健康相談実績 H17:901件 H18:898件 H19:1,198件 H20:1,042件 H21:1,100件 (予定数)	健康づくり支援課
7	2歳児親子歯科健診	継続	A	2歳～2歳6か月児とその保護者を対象に、歯科健診・指導を実施。 ・実施回数 12回	a	栄養・歯科の両面から生活習慣に関する意識付けをし、更に口腔衛生への意識を高めることができた。今後は対象者への周知を更に図り、受診者を増やしていく。	H17:児460人 親343人 H18:児354人 親269人 H19:児329人 親252人 H20:児355人 親280人 H21:児380人 親300人	健康づくり支援課
8	フッ化物塗布・洗口事業	継続	A	歯ッピーフェスティバル、健康まつりの際に、フッ化物塗布・洗口事業を実施した。 また市内公立保育園の4～5歳児クラスを対象にフッ化物洗口事業を実施(全園)。	a	フッ化物塗布・洗口事業を通し、むし歯予防の意識を高めることができた。	フッ化物塗布 H17:470人 H18:586人 H19:654人 H20:720人 H21:2回実施 フッ化物洗口 H17:292人 H18:465人 H19:427人 H20:550人 H21:2回実施 園児フッ化物 H17:407人 H18:428人 H19:520人 H20:808人 H21:20園で実施	健康づくり支援課
9	予防接種の接種率向上	拡充	A	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等による予防接種の接種勧奨のほか、麻しん風しん混合Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期未接種者に対して、個別通知による接種勧奨を行う。	a	予防接種の接種率向上のための取り組みについて、様々な機会を通じて行うことができた。特に20年度から実施した麻しん風しん混合未接種者への個別通知による接種勧奨は、よりよい啓発の機会になっている。	麻しん風しん混合Ⅰ期接種数 H18:2,635人 H19:2,860人 H20:2,698人 Ⅱ期接種者数 H18:2,194人 H19:2,370人 H20:2,840人	健康づくり支援課

10	保健推進員による妊婦訪問	拡充	E	H19に訪問についてのアンケートを実施し、訪問してもらえば専門職が良いという妊婦の要望が確認でき、その結果を受けて妊婦訪問を終了とした。	e	H19に訪問についてのアンケートを実施し、訪問してもらえば専門職が良いという妊婦の要望が確認でき、その結果を受けて妊婦訪問を終了とした。今後、妊婦については、早期の妊娠届出、適切な妊婦健康診査の受診を呼びかけ、また市で実施している妊婦向けの教室の他、妊娠中から参加できるサロン・サークル等の情報提供を行っていく。また、地域医療機関等関係機関と連携を図り、支援が必要な妊婦については電話相談、訪問、面接等で保健師・栄養士等が対応していく。	妊婦訪問実績 H17:438件 H18:525件 H19:542件	健康づくり支援課
11	新生児、産婦訪問指導	拡充	A	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師、保健師による訪問を実施。今年度は訪問希望を提出する出生連絡票の料金受取人払いを実施している。	a	事業の周知、担当する助産師・保健師の確保に努め、訪問実績を上げることが出来た。今後は、担当者に対する研修の実施等、事業の更なる充実を図る。	訪問実績 H17:2,093人 H18:2,363人 H19:1,840人 H20:2,129人 H21:2,300人 (見込み数)	健康づくり支援課
12	乳幼児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な母子に対し、保健師等による訪問指導の実施。要支援者への関わりの学びを深めるため、講師を招いての事例検討会を実施している。	a	訪問指導については、年々対象者が抱える問題点により複雑化・深刻化しており、担当する保健師等の資質向上のため、講師を招いた事例検討会を実施し、従事者の資質向上を図ることができた。訪問件数も毎年増えている。	訪問実績 H17:336人 H18:402人 H19:555人 H20:631人 H21:700人 (見込み数)	健康づくり支援課
13	不妊に対する支援	継続	A	特定不妊治療費の助成(平成19年度より助成期間を2年から5年に拡大 今年度から1回の助成額の上限が15万円となった。)・交付見込み件数 230件 不妊専門相談センターでの専門相談の実施	a	特定不妊治療費の助成については、国の実施要綱に合わせ、助成金額を拡充し、助成しており、交付件数も年々増加している。不妊専門相談センターについては、事業の周知・利用者の増加を更に図っていく。	H17:68人 H18:81人 H19:200人 H20:212人 H21:230人 (見込み数)	健康づくり支援課
14	妊婦健康診査	継続	A	国の通達により、平成21年度より妊婦一般健康査の公費負担回数を、昨年度の5回から14回へ拡大し、超音波検査については、年齢制限を撤廃した。また、里帰り出産等で委託医療機関で健診が受けられず、公費負担の対象とならない場合に対応するため、今年度新たに助成制度を実施した。	a	平成21年度より妊婦一般健康査の公費負担回数を、昨年度の5回から14回へ拡大し、超音波検査の年齢制限を撤廃した。また、里帰り出産等で委託医療機関で健診が受けられず、公費負担の対象とならない場合に対応するため、新たに助成制度を実施した。	延受診件数 H17:11,134人 H18:11,004人 H19:11,100人 H20:24,790人 H21:28,000人 (見込み数)	健康づくり支援課
15	母親学級・両親学級	拡充	A	妊婦とその夫を対象に、育児・栄養・歯科についての正しい知識の普及、妊娠中の不安の解消及び父親の育児参加の支援を目的に、プレ・パパママスクールを開催した。マタニティスクールは平成19年度をもって終了。 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回	a	地域の医療機関等で妊娠・出産についての知識普及・出産に向けての不安の解消等について同様の事業を実施している現状を踏まえ、産後の育児・父親の役割、栄養・歯科保健等、地域保健機関が実施する内容としての特色をもたせている。また、夫婦揃って参加しやすいよう、土曜日にも開催している。	参加者数 H17:10回292人 H18:10回348人 H19:6回235人 H20:10回288人 H21:10回290人 (見込み数)	健康づくり支援課

16	マタニティ体操	継続	E	地域の医療機関で同様の事業を実施しており、受講者も重なっている現状を受けて終了とした。	e	地域の医療機関で同様の事業を実施しており、受講者も重なっている現状を受けて終了とした。	参加者数 H17:12回252人 H18:12回163人 H19:12回171人	健康づくり支援課
17	マタニティクッキング	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的として、調理実習・講話を行う。 実施回数 12回	a	調理実習を通して、妊娠中とその後のよりよい食生活を習得してもらうことができた。また、栄養・歯科の両面から講話を行うようにし、内容も更に充実した。	参加者数 H17:12回110人 H18:12回 96人 H19:12回 96人 H20:12回 69人 H21:12回 80人 (見込み数)	健康づくり支援課
18	妊婦歯科健診	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、歯科健診と歯みがき指導を実施。 実施回数12回	a	妊娠中に起きやすい歯科疾患の予防、歯科保健に対する意識の高揚を図ることができた。	参加者数 H17:12回153人 H18:12回169人 H19:12回158人 H20:12回135人 H21:12回160人 (見込み数)	健康づくり支援課
19	母子栄養食品の支給	継続	A	低所得世帯の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行う。	a	低所得世帯の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行うことができた。	支給者数 H17:10人 H18:9人 H19:15人 H20:16人 H21:16人 (見込み数)	健康づくり支援課
20	のびのび子育て広場	継続	E	10～11か月児と保護者を対象とした生活習慣の確立と事故防止の教室であったが、公民館等地域の身近な施設で同様の事業を実施している現状を受けて終了とした。	e	公民館等地域の身近な施設で同様の事業を実施している現状を受けて、平成17年度をもって終了とした。	H17:6回160組	健康づくり支援課



21	離乳食教室	継続	A	月齢に応じた離乳食の進め方について教室を開催し、離乳食の講話・試食を行った。 ・はじめまして離乳食教室(概ね4～6か月児とその保護者) 実施回数 12回 ・もぐもぐ離乳食教室(概ね6～8か月児とその保護者) 実施回数 12回	a	離乳食について、知識の普及啓発を行い、不安の解消を図ることができ、また同月齢の乳児をもつ保護者同士の情報交換・仲間作りの場としても有効である。	参加者数 ・はじめまして離乳食 H17:12回228人 H18:12回242人 H19:12回289人 H20:12回288人 H21:12回290人 (見込み数) ・もぐもぐ離乳食 H17:12回172人 H18:12回166人 H19:12回185人 H20:12回253人 H21:12回260人 (見込み数)	健康づくり支援課
22	おやつと歯みがき教室	継続	A	2歳6か月～4歳未満児とその保護者を対象に、おやつ作りの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図った。また口腔内の手入れの仕方について指導を行った。 ・実施回数 12回	a	おやつ作りの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図ることができた。また口腔内の手入れの仕方について指導を行った。実施会場を変えたり等新しい参加者が増えるよう、工夫した。	参加者数 H17:12回104組 H18:12回131組 H19:12回158組 H20:12回156組 H21:12回170組 (見込み数)	健康づくり支援課
23	育児関連講座等への協力	拡充	A	公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 実施予定回数 20回	a	公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施し、育児不安の解消、子育て支援を行うことが出来た。	実施状況 H17:27回953人 H18:33回1,228人 H19:32回1,078人 H20:24回835人 H21:20回680人 (見込み数)	健康づくり支援課
			A	公民館と共催で連続子育て講座を開催 公民館主催の子育て講座に協力(講師派遣) 内容～食事、絵本、わらべうた、しつけ等	a	公民館と共催により子育て講座を開催。また、公民館が実施する子育て講座に講師を派遣した。	公民館への講師派遣 40回(平成20年度実績)	保育課
24	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施する。	a	訪問指導については、年々対象者が抱える問題点により複雑化・深刻化しており、担当する保健師等の資質向上のため、講師を招いた事例検討会を実施し、従事者の資質向上を図ることができた。訪問件数も毎年増えている。	訪問実績 (訪問指導の再掲) H17:66人 H18:80人 H19:55人 H20:102人 H21:110人 (見込み数)	健康づくり支援課

25	ひよこ教室・ひよこサロン	継続	A	・ひよこサロン(小さく生まれた子どもを持つ親の会) 実施回数12回 ・ひよこ教室(未熟児及びその保護者を対象とした教室) 今年度よりひよこサロンの場を活用して開催。	a	小さく生まれたという同じ悩みを持つ者同士が情報交換等を行い、不安の解消、育児支援に役立っている。 ひよこサロンの延参加人数は、保育士をスタッフに入れたこともあり、年々増えてきている。	参加者数 ひよこサロン H17:12回71人 H18:12回143人 H19:12回222人 H20:12回229人 H21:12回250人 (見込み数) ひよこ教室 H17:2回32人 H18:2回69人 H19:2回66人 H20:2回69人	健康づくり支援課
26	ダウン症のある子どもを持つ親の会	継続	A	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 うち2回、外部講師による講演会	a	ダウン症という同じ悩みを持つ者同士が情報交換等を行い、不安の解消、育児支援に役立っている。	参加者数 H17:11回166組 H18:11回113組 H19:11回88組 H20:11回58組 H21:11回60組 (見込み数)	健康づくり支援課
27	食物アレルギーの子どもをもつ親の会	継続	A	ポップサークルの開催 ・実施回数 12回	a	食物アレルギーという同じ悩みを持つ者同士が情報交換等を行い、不安の解消、育児支援に役立っている。	参加者数 H17:12回 99組 H18:12回 78組 H19:12回 97組 H20:13回 87組 H21:12回 90組 (見込み数)	健康づくり支援課
28	すくすくクリニック	継続	A	未熟児及び主に4か月児健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子どもを対象に、診察・相談を実施。 実施回数 12回	a	専門医師による診察及び保健師・栄養士による相談の実施により、成長発達を正しく評価しながら必要時適切な機関へ結びつけ、育児不安の解消に役立っている。	受診者数 H17:12回 65人 H18:12回 67人 H19:12回 53人 H20:12回 58人 H21:12回 65人 (見込み数)	健康づくり支援課
29	発育・発達クリニック	拡充	A	乳幼児健診・相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 実施回数 12回	a	診察・発達テスト・相談の実施により、成長発達を正しく評価しながら必要時適切な機関へ結びつけ、育児不安の解消に役立っている。	受診者数 H17:12回 92人 H18:12回 80人 H19:12回 76人 H20:12回 84人 H21:12回 85人 (見込み数)	健康づくり支援課
30	子どもの心の健康相談	拡充	A	乳幼児健診・相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 実施回数 12回	a	診察・発達テスト・相談の実施により、成長発達を正しく評価しながら必要時適切な機関へ結びつけ、育児不安の解消に役立っている。	受診者数 H17:12回 54人 H18:12回 66人 H19:12回 52人 H20:12回 62人 H21:12回 65人 (見込み数)	健康づくり支援課

31	多胎児をもつ親の会	継続	A	ハッピーエンジェルを開催 21年度より、月1回のサロンとして開催している。 ・実施回数 12回	a	多胎児をもつ親という同じ悩みを持つ者同士が情報交換等を行い、不安の解消、育児支援に役立っている。これまで、サークルとして活動していたが、役員のなり手がおらず、21年度より月1回のサロンとしての開催となったが、参加者数は変化なく、サークルメンバーも協力的である。	参加者数 H17:24回406組 H18:24回356組 H19:24回291組 H20:24回345組 H21:12回200組 (見込み数)	健康づくり支援課
32	こども医療費の助成	拡充	A	こどもが必要とする医療を安易に受けられるようにし、こどもの健康の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給する。 支給件数 319,657件 支給額 520,000千円	a	こどもが必要とする医療を安易に受けられるようにし、こどもの健康の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。	平成20年度 支給件数 301,391件 支給額 502,687千円	医療助成課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

1-(2)「食育」の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	幼稚園・保育所等における指導	拡充	A	市立保育園において、健全な成長発達を目指し、食事の楽しさや大切さについて栄養教育を行う。 公立保育園20園 各6回	a	食育の指導については、毎年、確実に実施している。	毎年 公立保育園20園 各6回	保育課
2	小・中学校への指導	継続	A	小学校2年生2,852人 198回 小中学校への食に関する指導 各種広報誌の発行 6回	a	年間計画の中で予定どおり進めている	小学校2年生2,852 198回 各種広報誌発行6回	給食センター
		A	学校給食の時間をはじめとする特別活動、各教科、道徳、総合的な学習の時間といった学校生活全体で食に関する指導を実施した。	a	食に関する指導の全体計画を各学校で整えることで、学校教育全体を通じた体系的・継続的な指導が実践された。		教育指導課	
3	地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	A	地場農産物の学校給食への利用 地場産物を利用した料理教室開催 地場産物に関する食育資料提供	a	夏休み料理教室の開催 食育用パネル及びパワーポイント作成	料理教室開催2回 パネル4枚 パワーポイント3種類	給食センター

4	情報発信活動	拡充	A	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等が、イベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエプロンシアター等を実施し、情報を発信する。 また、歯科医師会、歯科衛生士会、地域活動栄養士の会などと共同で、食育およびむし歯予防を含めた幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本、紙芝居を作成する。	a	食生活改善推進員協議会は、健康まつりや歯ッピーフェスティバルの他に、市内のイベントに自主的に参加し、多くの市民に食育を広くしてもらえるように、掲示物の展示や資料を配布するなどして情報発信を積極的に展開している。 地域活動栄養士の会は、健康まつりや歯ッピーフェスティバルの他に、各種団体や関係機関からの依頼により栄養指導や健康教室を実施し、専門家として「食育」の重要性を情報発信している。 歯の健康づくり推進検討会、幼児のむし歯予防推進事業から、幼児を対象にした絵本、紙芝居の作成を各種専門職、団体の協力により作成	食生活改善推進員協議会・地域活動栄養士の会 H17年度～21年度 歯ッピーフェスティバル、健康まつりに参加協力。 絵本 H20年度 会議、作成作業 H21年度 会議、作成作業、完成予定	健康づくり支援課
5	乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充	A	1歳6か月児健診や乳幼児相談の際に、栄養士による個別相談を実施し、食に関する不安の解消、望ましい食生活への支援を行っている。 ※4か月児健診時の栄養士を一部増員し、個別栄養相談ができるようになった。	a	健診、相談の際の個別栄養相談の実施により、食に関する不安の解消、望ましい食生活への支援が行えている。	実施状況 H19:419人 H20:569人 H21:580人 (見込み数)	健康づくり支援課
6	食生活改善推進員協議会の活動支援	拡充	A	健康まつりや歯ッピーフェスティバルなどのイベントに参加し、「食育」を推進する。 親子料理教室など調理実習を実施する。	a	食生活改善推進員協議会は、健康まつりや歯ッピーフェスティバルの他に、福祉まつりや市内のイベントに自主的に参加し、多くの市民に食育を広くしてもらえるように、掲示物の展示や資料を配布するなどして情報発信を積極的に展開している。 親子料理教室は、家庭の主婦の立場から親しみのある教室が好評である。	歯ッピーフェスティバル、健康まつりに参加協力 H17年度～21年度 親子料理教室の実施 H17年度～21年度 1回/年	健康づくり支援課
7	地域活動栄養士会との協働	拡充	A	地域活動栄養士の会と共催事業を実施し、食育の推進を図った。 ・実施回数 4回	a	地域活動栄養士の会活動を支援するとともに、地域での食育の推進を図ることができる。	実施状況 H19:2回20組 H20:4回59組 H21:4回35組 (見込み数)	健康づくり支援課
8	マタニティクッキング・離乳食教室・おやつと歯みがき教室・2歳児親子歯科健診での展開	拡充	A	妊娠期から幼児期まで、各ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通じた健康づくりの支援を行う。	a	妊娠期から幼児期まで、各ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通じた健康づくりの支援を行っている。	各事業の実施状況参照	健康づくり支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

1-(3) 思春期保健対策の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末	平成21年度の事業実績(見込)	前期計画	前期計画事業実績(見込)	既存統計データ	所管課
			進捗状況(見込)	【目標事業量に対する実績値】	達成状況(見込)	実績評価		
1	薬物乱用防止啓発	継続	A	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を行う予定。 ・健康まつりにキャラバンカーの招致を行う予定。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(朝霞台駅及び北朝霞駅周辺)に参画した。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のための講師を派遣した。派遣回数3回受講者数606人	a	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を行った。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーンに参画した。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のための講師を派遣した。	— (啓発活動であるため、数値化できません。)	保健総務課
			A	全市立学校で薬物乱用防止教室を開催。その他様々な機会を生かして児童生徒へ啓発を図っている。	a	全市立学校で薬物乱用防止教室が開催され、指導の徹底が図られている。		教育指導課
2	思春期保健相談	新規	A	・随時、電話等で思春期相談に対応。 ・中学・高校・大学への出前講座(1回/年実施 参加者50名) ・思春期保健講座(2クール/年開催 参加者136名)	a	平成17年度から19年度にかけて、思春期体の相談を実施したが、月1回しか実施していないことや、保健所の立地状況、個別の相談は来づらい等の事情により、相談者数は伸びなかった。そのため、平成19年度より出前講座を開始し、受身的な対応からこちらから出向く積極的な対応へと転換した。そのことにより、学校関係者との連携も多くなり、また、係る児童の数も増え、講座実施の際の質疑応答等により、普段相談しづらい児童の悩み等への対応が可能となった。	・思春期体の相談 平成17年度:5回実施(相談者15名) 平成18年度:12回実施(相談者67名) 平成19年度:8回実施(相談者14名) ・出前講座 平成19年度:2回実施(参加者96名) 平成20年度:4回実施(参加者364名)	保健予防課
			C	随時、電話等で思春期の保健相談に対応。	c	学校保健分野の関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。		健康づくり支援課
3	子育て体験学習	新規	D	関係機関との連携が図られていないため未実施。	d	関係機関との連携が図られていないため未実施。		健康づくり支援課
4	中学生の健康教育	継続	C	依頼を受けての実施としているが、実績がない状況。	c	学校保健分野の関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。		健康づくり支援課

5	飲酒・喫煙防止対策	拡充	A	飲酒・喫煙防止について、チラシを作成し啓発を実施。 保健推進員協議会等団体の協力により、ラジオ体操や夏祭りなどイベント時にチラシ等を配布する。 「健康スケジュール」に、未成年の喫煙防止の記事掲載。 保健推進員の研修において「アルコールについて」の研修を実施。	a	啓発活動として、保健推進員等の研修会にて「タバコの害」や「アルコールと健康」について、啓発の重要性をご理解いただき、活動の中で、チラシ等の配布活動を展開してきた。保健推進員協議会をはじめ各団体からの協力により、チラシの配布数は増加傾向にある。	チラシの配布数 H17年度 8,630枚 H18年度 10,459枚 H19年度 10,898枚 H20年度 13,087枚 *啓発チラシ全体数です 研修会 H18年度 3回 (タバコ) H21年度 6回 (タバコ、アルコール) 啓発記事 広報 H17-19年度 たばこ H20-21年度 たばこ・アルコール 健康スケジュール H17-20年度(たばこ) H21年度	健康づくり支援課
6	性感染症対策	継続	A	・性感染症検査、相談及び即日検査 (月3回実施) ・エイズを含む性感染症予防啓発事業 (世界エイズデー パネル展示)	a	繰り返し予防啓発を行ない、定期的に検査を行うことにより、市民の意識向上や行動変容につながり、年々受検者数が増加した。	受検者数の推移 H17年度 182名 H18年度 390名 H19年度 800名 H20年度 580名	保健予防課

【網掛け】 重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

1-(4) 小児医療の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	小児救急医療対策事業	継続	A	当事業の概要は、第二次小児救急医療に係る経費の一部助成であるが、当事業は現在、埼玉県が実施しており、本年度も埼玉県から該当医療機関へ補助金が交付される予定である。	a	予定通り埼玉県から補助金が交付される見込みであり、当該補助金交付事業は順調であると推測される。 また、今現在、計画通りに平日(土曜日も含む)毎夜及び休日の昼間夜間の診療が確実に実施されていることから、当該補助金交付事務が滞りなく実施されていることが窺われる。	(対象医療機関) 埼玉医科大学総合医療センター *川越地区・比企地区で1医療機関	保健医療推進課

2	休日急患・小児夜間診療事業	継続	A		a	月～金曜日の夜間及び休日(日曜・祝祭日)の診療を実施	4～9月患者数 2317名	診療所
3	未熟児養育医療給付	継続	A	未熟児に対して、養育のため指定養育医療機関に入院入院が必要な場合、その養育に必要な医療給付を行う。	a	未熟児に対して、養育のため指定養育医療機関に入院入院が必要な場合、その養育に必要な医療給付を行っている。	受給状況 H17:97人 H18:118人 H19:91人 H20:74人 H21:100人 (見込み数)	健康づくり支援課
4	身体障害児育成医療給付等 ※自立支援医療(育成医療)に名称変更	継続	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行う。	a	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行っている。	受給状況 H17:102人 H18:135人 H19:97人 H20:115人 H21:167人 (見込み数)	健康づくり支援課
5	結核児童療育医療給付 ※結核児童療育給付に名称変更	継続	A	結核児童に対して、その児童の心身両面にわたる健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療等の給付を行う。	a	結核児童に対して、その児童の心身両面にわたる健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療等の給付を行っている。	受給状況 H17:2人 H18:1人 H19:1人 H20:0人 H21:1人 (見込み数)	健康づくり支援課
6	小児慢性特定疾患医療給付	継続	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	a	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行っている。	受給状況 H17:233人 H18:251人 H19:242人 H20:231人 H21:250人 (見込み数)	健康づくり支援課

## (2)基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

### 2-1) 次代の親の育成

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	男女平等教育研修会	継続	A	各学校・園において、男女平等の重要性や人権の尊重、男女の相互理解と協力等、男女共同参画の視点に立った教育を進める	a	川越市における男女共同基本計画の周知を各教職員に図るとともに、男女平等意識を高める学校での実践についての研修を推進する。 ての事業内容	平成21年度 参加者数56名 各市立学校	教育指導課 教育研究所
2	中学生社会体験事業	継続	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。	a	全中学校がそれぞれ計画通りに実施し、体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。	平成21年度 参加生徒数2941名 協力事業所 530社	教育指導課
3	子育て体験学習 (1-(2)-2の再掲)	新規	D	関係機関との連携が図られていないため未実施。	d	関係機関との連携が図られていないため未実施。		健康づくり支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

### 2-2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	小・中学校への指導 (1-(2)-2の再掲)	継続	A	学校給食の時間をはじめとする特別活動、各教科、道徳、総合的な学習の時間といった学校生活全体で食に関する指導を実施した。	a	食に関する指導の全体計画を各学校で整えることで、学校教育全体を通じた体系的・継続的な指導が実践された。		教育指導課
2	子ども情報提供事業	継続	A	かわごえし子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて家庭に配布。	a	児童生徒たちに、さまざまな情報を提供できた。	20回	生涯学習課
3	臨床心理士配置事業	新規	A	教育総合相談センター(リバーラ)に1人配置し、学校やリバーラにおける相談活動の指導、助言を行っている。	a	対応が難しい相談ケースに臨床心理士が対応し成果を上げた。		教育研究所
4	川越市さわやか相談員配置事業 (平成19年度から名称変更)	継続	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施している。 ・中学校22校に22人配置	a	相談員が相談室にいて、人間関係が深められ相談内容の充実を図ることができた。特に、心的な悩みを訴える生徒が多く、じっくり話を聞いてあげることで、自己開示が出来るようになった生徒も多い。		教育研究所



5	学校カウンセリング研修事業	継続	A	教職員や川越市さわやか相談員を対象に学校カウンセリングに関する研修を実施した。 学校カウンセリング中級研修会8回 100名 学校カウンセリング初級研修会3回 41名 学校教育相談コンサルテーション研修会1回 39名 特色あるさわやか相談室づくり研修会1回 21名	a	不登校や学校不適應等の相談依頼は多く、研修を通じた教員の資質向上と、相談活動の充実を図ることができた。		教育研究所
6	適応指導教室	継続	A	教育総合相談センター(リベアラ)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。	a	高等学校やサポート校等、生徒が自分自身にあった進路を選択することができた。		教育研究所
7	総合的な学習の時間の支援	継続	A	市立学校への訪問指導を行う。	a	7月28日、29日に行われた小・中学校教育課程説明会に各学校の担当者が参加し、移行措置の内容等についての研修を行うとともに、各学校で教育課程説明会後の報告会を行った。	参加率100%	教育指導課
			A	総合的な学習の時間について「特色ある学校づくり研修会」を2回実施し、延べ96名参加した。1回目は新しい総合的な学習の時間についての講演を行い、2回目は、各学校の年間計画と全体計画の見直しを行った。	a	年間2回の研修会を実施し、各学校各1名が参加し、着実に総合的な学習の時間の取組を進めている。	年間2回開催 小学校、中学校 各校1名参加	教育研究所
8	川越市教職員研修事業	拡充	A	川越市立学校(小・中・高・特別支援学校)の教職員を対象とした研修会を実施した。研修内容の工夫改善を図り、コースによる選択制を拡大した。 主な内容は経験者研修(年次研修)・職能別研修・重点研修・奨励研修などを行い、8月末日現在で、延べ3892名が参加した。	a	川越市立学校(小・中・高・特別支援)の教職員を対象とした研修会を実施し、常に最新の情報を提供し、外部指導者を積極的に招聘した。そのため、各学校では、順調に新学習指導要領の趣旨を生かした実践が行われている。また、研修会の受講者数も増加している。	83講座 研修日数約260日 延べ参加者数約6000名	教育研究所
9	指導方法の工夫改善、少人数学級	拡充	A	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やT・Tによる、個に応じたよりきめ細かな指導を実施している	a	確かな学力の定着をめざし、少人数指導等により指導方法を工夫改善し、きめ細かな指導を行なうことができた。	県費による指導法工夫加配教員配置100%	教育指導課
			A	中学校第1学年で、1学級概ね35人を超える学年に1学級増を行い、市費採用の臨時講師を配置した。 少人数学級のための臨時講師 5校(初雁中、富士見中、高階中、福原中、名細中)、5名	a	中学校第1学年で、1学級35人を超える学年に1学級増を行い、少人数学級にして臨時講師を配置することにより、授業や生活面等でよりきめ細かな指導を行うことができた。	臨時講師配置校数 17年度…5校 18年度…8校 19年度…8校 20年度…10校 21年度…5校	学校管理課
10	教育副読本の整備	継続	A	小学校3、4年生の社会科の副読本を整備する。	a	小学校3、4年生の社会科副読本を毎年改訂を重ねながら整備することができた。	平成20年度 決算額3,921,500円	教育指導課

11	中学校社会体験事業 (2-(1)-2の再掲)	継続	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。	a	全中学校がそれぞれ計画通りに実施し、体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。	平成21年度 参加生徒数2941名 協力事業所 530社	教育指導課
12	国際理解教育	継続	A	小学校における外国語活動と中学校における英語科の授業を推進するための研修会を行っている。 国際理解教育研修会2回(小、中学校) 137名参加 小学校英語活動指導者研修会3回(小学校) 152名参加 英語科授業づくり研修会3回(中学校)23名参加 AETと楽しむ英会話研修会1回(小、中学校)23名参加	a	小学校では、今年度から5、6年生で始まった外国語活動の推進のための研修会を行ったり、中学校の英語科の授業の充実を図るための研修会を行ったりしたため、小学校と中学校の連携が進み、小学校では、外国語活動が円滑に実施されている。	国際理解教育研修会3回(小、中学校各校1名参加) 小学校英語活動指導者研修会(平成20年度より)夏3回冬2回 英語科授業づくり研修会(中学校)3回 AETと楽しむ英会話研修会(小、中学校)1回	教育研究所
13	情報教育	継続	B	児童生徒の情報活用の力を育成するため、教職員への研修の実施、情報機器の整備を行っている。小学校32校804台、中学校22校946台 ・やさしいパソコン操作研修会他4研修会8回 87名参加 (B評価理由:情報機器の整備が十分でないため。特に、教育用PCの数や校内LANの整備について、国の基準をみだしていない。)	b	情報機器のより効果的な活用についての研修、児童生徒の情報モラルについての指導法についての研修を行い、授業で情報機器を積極的に活用できるようにしている。	やさしいパソコン操作研修会2回 パソコンプレゼンテーション研修会2回 パソコンホームページ作成研修会2回 授業に役立つパソコン研修会2回	教育研究所
14	土曜体験教室	継続	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。22回実施	a	毎月2回(8月を除く)、プログラムも毎年数種類短時間でできる内容で更新し、実施できた。	108講座	博物館
15	子ども博物館教室	継続	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習、はにわ作りなどの体験を行った。3回実施	a	1日かけてじっくり取り組めるプログラムで実施した。川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容で毎年数種類更新して実施できた。	15講座	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	A	学校との連携を図り、夏季休業日を活用して学校教育との連動した学習の場として、ミニ縄文土器や街並み見学ツアーの体験を行った。3回実施	a	夏季休業日を利用して博物館に来館し、興味を持って取り組める内容で実施できた。	16講座	博物館

17	昔の遊び	継続	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にベーゴマ回しや割り箸鉄砲作りの体験を行った。2回実施	a	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として、市民ボランティアの協力を得て実施できた。	10講座	博物館
18	ミュージアムシアター	継続	E	18年度から実施していない	e	17年度のみ実施し、事業を見直した結果、終了することになった。	2講座	博物館
19	人権教育	継続	A	人権作文集「あけぼの」を、3,150部発行予定。「いのち・こころを大切に作る絵画展」を3日間開催予定。	a	人権作文集「あけぼの」を毎年3,150部発行。「いのち・こころを大切に作る絵画展」を3日間開催してきており、毎年200名近くの入場者を得ている。		生涯学習課
20	人権啓発事業	継続	A	講演会参加者数200名 啓発冊子等配布数1,200冊 啓発ビデオの貸出件数40件 講演会実施回数1回 広報掲載回数12回 啓発用品の駅頭等配布数4,000個	a	①講演会の開催 ②市内の公的施設及び駅頭啓発において啓発用品配布 ③ビデオを購入し、学校・企業等へ貸出等により人権啓発を積極的に推進してまいりました。	講演会参加者数203名 啓発冊子等配布数1,850冊 啓発ビデオの貸出件数37件 講演会実施回数1回 広報掲載回数12回 啓発用品の駅頭等配布数5,000個	人権推進課
21	学校部活動補助事業	継続	A	補助金の交付により、学校が行なう部活動やクラブ活動の振興を図り、児童生徒の個性の伸長及び協調性や体力の向上等心身の健康の増進を図る。	a	補助金の交付により、学校が行なう部活動やクラブ活動の振興を図り、児童生徒の個性の伸長及び協調性や体力の向上等心身の健康の増進を図り、児童生徒の健全育成に寄与することができた。	補助金交付額 ・小学校 800000円 ・中学校 1600000円 ・市立高 148000円 ・市立養 12000円	教育指導課
22	公立学校施設の整備	継続	A	小学校5校(校舎)、中学校1校(体育館)の耐震補強工事を実施	a	小中学校建物の耐震化の前期計画の指標は、43.2%であったが、平成20年度末において、耐震化率が56.5%になっている。	56.5%	教育財務課
23	幼児教育振興プログラムの策定	新規	E	平成19年度に策定完了	e	平成19年度に策定完了		教育指導課
24	育児関連講座	継続	A	事業実績(見込): 10講座 子育てガイドマップ作成講座やおはなし会、親子コンサートや体操教室などを各公民館で計画した。	a	学習内容の充実に務め、育児に関する情報や、親子でふれあいを深める学習機会の提供を行った。	講座数・延参加者数 17:18講座 1498人 18:22講座 1315人 19:15講座 980人 20:11講座 935人	中央公民館
25	幼保小連絡懇談会の実施	継続	A	第33回幼保小連絡懇談会を6会場で実施し、「様々な遊びや活動を通しての子どもの人間関係づくり」のテーマの基に、特に基本的な生活習慣について各校・園の実践事例を通しての研修を深める。	a	8月に子どものよりよい成長を考える研修会を実施し、各園、各小学校における基本的な生活習慣の育成のポイントについて学びができた。	参加者数 幼保51名 中4名 合計83名	教育指導課

26	川越市子ども読書活動推進計画の策定・推進	新規	A	川越市子ども読書活動推進計画策定を組織し、市内の子どもたちの読書活動のさらなる推進を図り、家庭・地域・学校が一体となって、子どもが読書活動に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実に努める。	a	川越市子ども読書活動推進計画策定に向けて各種情報を収集するとともに、策定委員会の立ち上げに向けた関係課との連絡・調整を図った。	学校図書館協議会長、図書館協議会理事、PTA代表、小・中学校代表、保育課、中央図書館長、教育総務課、教育財務課、学校管理課、生涯学習課、教育研究所	教育指導課
27	学校図書館図書の整備	拡充	A	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。達成率 小学校65.8% 中学校75.6%	a	引き続き「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努め、達成率を向上させることができた。		教育指導課
28	小江戸読書マラソン事業	継続	A	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡した。	a	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡すことで、児童の読書意欲を高めることができた。	・参加児童数 18260名 認定数 8470名	教育指導課
29	小江戸中学生読書手帳事業	継続	A	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。 ・活用している15校 ・あまり活用していない7校	a	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。学年担当者に趣旨を伝え配布することで、効果的な活用が進められた。		教育指導課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

2-(3) 家庭や地域の教育力の向上

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	教育相談・就学相談事業	継続	A	子どもの教育に関すること、学校生活、発達や就学に関する相談に応じた。 ・川越市就学支援委員会(委員25名)	a	相談者のニーズに応じて関係諸機関と連携し、臨床心理士のスーパーバイズを得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。		教育研究所
2	不登校児童生徒保護者セミナー	継続	A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じている。	a	セミナーの名称を「いきいき登校サポートセミナー」とし、子どもが登校をしづかったとき、生活リズムづくり、登校へのきっかけづくりについて考え、話し合う機会とした。		教育研究所
3	学習相談	継続	E	高階北学習情報館の廃止により終了	e	高階北学習情報館の廃止により終了		生涯学習課
4	家庭教育学級	継続	A	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。54校PTA	a	原則、市内公立小中学校全PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託し、5年実施した。	5年で約19,000人参加。	生涯学習課

5	家庭教育講座	拡充	A	事業実績(見込):25講座 各公民館で乳幼児の親向けに家庭教育学級などを実施し、今後の実施に向けても企画中である。	a	講座数及び延べ参加者数が年々増え、多くの乳幼児の親に学習の機会を提供することができた。	講座数・延参加者数 17:20講座2,282人 18:28講座2,434人 19:23講座2,908人 20:25講座2,938人	中央公民館
6	総合型地域スポーツクラブ	拡充	B	2クラブの設置。芳野スポーツクラブでは、自主的な運営を行うことができるようになった。新規の川越公園クラブについては、充実した施設設備を活用して事業を推進している。今後交流予定。既存組織での活動のため更なる新規設置は難しい状況にある。	b	2クラブの設置が実現したが、更なる新規設置は難しい状況にある。既存の組織による活動が定着しており、地域でのコーディネーターの育成が難しいが、様々なスポーツ・ニーズに対応するため働きかけを行っていく。	2クラブ育成・設置	市民スポーツ課
7	スポーツ少年団	継続	A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上をはかった。また、体カテスト会を実施し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	a	団相互の交流、指導者や母集団等の研修会の開催、体カテスト会の開催等により、子供の体力向上、心身の健康的な成長に寄与することができた。現在56団体が少年団として活動しており、若手の指導者の育成も図られ、活動の質的充実が推進されている。		市民スポーツ課
8	学校体育施設開放事業	継続	A	小学校33校(旧古谷東小含む)、中学校20校で体育施設開放を実施した。学校開放委員会を中心に体育施設の活用が計画的に行われ、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。体育館等の耐震工事のため、利用日数が昨年度より減少してしまう学校施設がいくつかあった。	a	9割を超える学校において、体育施設の開放を実施することができた。計画的な施設の活用により多くの住民がスポーツを楽しむことができた。青少年のスポーツ活動も盛んになってきており、異年齢間・世代間交流も推進することができた。		市民スポーツ課
9	人材バンク	新規	B	各地区サポート委員会において人材バンクの設置は進んでいる。人材の活用について、地区により差が見られる。	b	幅広い人材を確保することができた。その活用についてが今後の課題である。		生涯学習課
10	学生ボランティアの活用	新規	B	学生が事業に参加しているところと、そうでないところがある。	b	大学のある地域については学生の活用が進んだが、地域には大学がないところについて、どのようにして学生に参加してもらうかが課題である。		生涯学習課
11	出前講座	新規	A	PTA家庭教育学級や公民館事業において、人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣している。	a	17年度から毎年派遣事業の数が着実に増えてきている。当初から比べて昨年度までに講師派遣の数が4倍に増加した。		生涯学習課

12	エコチャレンジファミリー認定事業	継続	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネナビコース:13件認定</li> <li>・簡易電力計コース:20件認定</li> <li>・省エネ家計簿コース:11件認定</li> <li>・省エネワークブックコース:60件認定(見込)</li> <li>・ゴールド・エコチャレンジファミリー:7件対象</li> </ul>	a	平成20年度までに延べ675件の家族をエコチャレンジファミリーとして認定し、省エネの取り組みを広げている。また、平成18年度からは小学校単位で参加できる省エネワークブックコースを新設し、子どもを対象とした取り組みを更に広げている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネナビコース:97件認定</li> <li>簡易電力計コース:162件認定</li> <li>省エネ家計簿コース:71件認定</li> <li>省エネワークブックコース:345件認定</li> <li>ゴールド・エコチャレンジファミリー:22件認定</li> </ul>	環境政策課
13	市民環境調査	継続	A	「かわごえエコツアー」を実施した。(1回実施。参加者数42人)	a	平成17年度以降年度ごとに1回実施しており、順調に進捗している。	平成17～21年度で毎年度1回開催	環境政策課
14	星空観察の集い	継続	A	夏期を8月に実施し(参加者数56人)、冬期を1月に実施予定である。	a	平成17年度以降年度ごとに2回(夏期・冬期)実施しており、順調に進捗している。	平成17～21年度で毎年度2回開催	環境政策課
15	環境展inさんぱく	継続	A	見込参加者数 延べ 786名(平成20年度実績)平成20年度は、クイズ、パソコン、図工を取り入れ、楽しく学習できるよう工夫した。平成21年度も同様に実施する予定。	a	参加者数把握方法が毎年異なる(企画を毎回新しくしている)ため、参加者数にばらつきがあるが、毎回、大人から子どもまで参加し、環境について楽しく学習している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者数</li> <li>平成18年度623名</li> <li>平成19年度284名</li> <li>平成20年度786名</li> </ul>	環境政策課
16	環境ふれあい教室(水生生物調査)	継続	E	19年度をもって終了した。	e	平成8年度から始めた水生生物調査は、平成19年度をもって終了した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者実績</li> <li>平成17年度 14名</li> <li>18年度 20名</li> <li>19年度 11名</li> </ul>	環境保全課
17	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続	A	市内在住の親子を対象に東清掃センター、リサイクルセンターの見学及び紙すき体験、廃材を利用した工作教室を行った。	a	募集人数に近い申込みがあり、また、リサイクル体験を通して3Rに関心を持っていただけるので、有意義な事業であると考えます。		資源循環推進課
18	市民の森	継続	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)維持管理 清掃(月3回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時)</li> <li>(2)施設改修 第1号ほか整備工事</li> </ul>	a	定期的な維持管理と、不都合箇所の改修を行うことで、良好な自然環境を保つことができていると考える。散歩や休憩で利用されるほか、一部の森では、子供たちの自然学習の場としても利用されている。		環境政策課

19	子どもエコクラブ	継続	A	登録数 4クラブ・92会員(平成21年10月15日現在) 研修会(12月)、発表会(2月)を実施予定	b	登録したクラブへの情報提供を行い、市主催のイベントを年度あたり2~3回実施しており、概ね順調に進捗してきているところではあるが、登録クラブ数について近年伸び悩んでいることについて課題となっている。	登録クラブ数 H17(20) H18(16) H19~21(各4)	環境政策課
20	エコチャレンジスクール	継続	B	18校認定予定、38校は継続して取り組んでいる。(Bの理由として、要綱の一部を改正し、必要書類の提出がやや遅れた為。)	a	川越市内小・中・高・特別支援学校の全57校(平成20年度古谷東小を含む)がエコチャレンジスクール認定校となり、各学校において工夫した取り組みをしていた。		教育研究所

(3)基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

3-(1) 親の学びの機会の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	母親学級・両親学級 (1-(1)-15の再掲)	拡充	A	妊婦とその夫を対象に、育児・栄養・歯科についての正しい知識の普及、妊娠中の不安の解消及び父親の育児参加の支援を目的に、プレ・パパママスクールを開催した。マタニティスクールは平成19年度をもって終了。 ・プレ・パパママスクール 実施回数 10回	a	地域の医療機関等で妊娠・出産についての知識普及・出産に向けての不安の解消等について同様の事業を実施している現状を踏まえ、産後の育児・父親の役割、栄養・歯科保健等、地域保健機関が実施する内容としての特色をもたせている。また、夫婦揃って参加しやすいよう、土曜日にも開催している。	参加者数 H17:10回292人 H18:10回348人 H19:6回235人 H20:10回288人 H21:10回290人 (見込み数)	健康づくり支援課
2	育児関連講座 (2-(3)-5の再掲)	継続	A	事業実績(見込):10講座 子育てガイドマップ作成講座やおはなし会、親子コンサートや体操教室などを各公民館で計画した。	a	学習内容の充実に務め、育児に関する情報や、親子でふれあいを深める学習機会の提供を行った。	講座数・延参加者数 17:18講座 1498人 18:22講座 1315人 19:15講座 980人 20:11講座 935人	中央公民館
3	家庭教育講座 (2-(3)-5の再掲)	拡充	A	事業実績(見込):25講座 各公民館で乳幼児の親向けに家庭教育学級などを実施し、今後の実施に向けても企画中である。	a	講座数及び延べ参加者数が年々増え、多くの乳幼児の親に学習の機会を提供することができた。	講座数・延参加者数 17:20講座2,282人 18:28講座2,434人 19:23講座2,908人 20:25講座2,938人	中央公民館

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

3-(2) 親の社会参画の機会の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	「つどいの広場」	新規	A	法人保育園2箇所が新規開設した。 【7箇所】	b	毎年度1~2箇所新規開設していったが、目標箇所数に達していないため。	公立1箇所 法人6箇所 計7箇所を実施	保育課
2	家庭教育学級 (2-(3)-4の再掲)	継続	A	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。54校PTA	a	原則、市内公立小中学校全PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託し、5年実施した。	5年で約19,000人参加。	生涯学習課
3	イベント等への参加促進	新規	B	各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で通知した。 配慮についての内容だけではなく、ボランティアの活用方法等を周知する必要がある。	b	各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で通知した。 配慮についての内容だけではなく、ボランティアの活用方法等を周知する必要がある。	通知(年1回)	子育て支援課



#### (4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

##### 4-(1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	育児休業取得等の推進・啓発	拡充	A	主に事業主を対象とした仕事と家庭の両立支援セミナーを11月に開催するとともに他の講座開催時に啓発リーフレットを配布する。	b	育児休業取得等の推進を包括するような新しいワークライフバランスという概念が計画途中の平成19年度から提唱されたため、計画に十分対応しきれない部分があった。	両立支援セミナーの開催 2回 啓発リーフレットの配布	緊急地域経済対策室
2	ハローワーク求人情報の提供	継続	A	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越及び市ホームページにおいて、ハローワーク川越求人情報を毎週更新して提供する。	a	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越に加え、平成18年9月から市ホームページにおいて、ハローワーク川越求人情報を毎週更新して提供した。	—	緊急地域経済対策室
3	求職相談	継続	A	主に団塊世代を対象に再就職、ボランティア、NPO活動、起業等についてのキャリアカウンセリングを行う、団塊世代第2ステージ相談会を実施する。	a	主に団塊世代を対象に再就職、ボランティア、NPO活動、起業等についてのキャリアカウンセリングを行う、団塊世代第2ステージ相談会を実施するとともに、平成21年度から就労相談室を設置し広く相談に応じる体制とした。	相談件数 1495 3件	緊急地域経済対策室
4	資格・技能情報の収集と提供	継続	A	主に勤労者を対象にパソコン基礎講座、宅建基礎講座等を開催するとともに、彩の国仕事発見システムによる求人情報を提供する。	a	主に勤労者を対象にパソコン基礎講座、宅建基礎講座等を開催した。彩の国仕事発見システムによる求人情報を提供した。	就職支援セミナーの開催 1回 パソコン基礎講座の開催 4回 宅建基礎講座の開催 3回	緊急地域経済対策室
5	国・県の機関との連携	継続	A	ハローワーク川越等と連携して若年者を対象とした若者就職面接会を10月29日及び2月上旬に開催するとともに、県川越比企地域振興センター、ヤングキャリアセンター等と連携して労働法、キャリアアップ等に関する講座を開催する。	a	ハローワーク川越等と連携して若年者を対象とした若者就職面接会を実施し平成18年度からは年2回開催した。県川越比企地域振興センター、ヤングキャリアセンター等と連携して労働法、キャリアアップ等に関する講座を開催した。	若者就職面接会の開催 7回 各種講座への参加人数 1377名	緊急地域経済対策室
6	労働基本調査	継続	D	4年に1回の実施であるため、本年度は未実施(20年度実施)。	a	4年に1回の実施であるが、労働状況の変化に合わせて仕事と家庭の両立支援や女性の就業環境に関する調査項目を新たに追加、平成20年度に実施した。	—	緊急地域経済対策室
7	労働相談	継続	A	勤労者、事業主双方を対象として社会保険労務士による労働相談を隔月で夜間にも実施し、延べ18回開催する。	a	勤労者、事業主双方を対象として社会保険労務士による労働相談を実施し、平成21年度からは隔月で夜間相談会も実施した	相談件数 38件	緊急地域経済対策室

8	一般事業主との連絡協議会	新規	B	一般事業主を対象に仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境等に関するセミナー、講演会等を開催する。	b	当初、川越市に本社がある301人以上雇用している事業主を対象に会議を開催したが、参加事業主が少ないので、対象を101人以上雇用している事業主に拡大し、仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境に関するセミナー、講演会、事例発表会等を行った。	開催数及び延べ参加者数 H17 2回・4人 H18 2回・4人 H19 2回・77人 H20 2回・35人 H21 2回・50人 (見込)	子育て支援課
9	女性の就労支援事業	継続	A	女性の就労支援や資格取得を目標とした講座を実施する。 ・医療事務講座 23回 ・宅建基礎講座 23回 ・日商簿記3級講座 20回 ・介護事務講座 14回 ・ファイナンシャルプランナー3級講座 8回 ・調剤薬局事務講座 9回 ・Re・Beワークセミナー 2回 ・女性の再就職のためのエクセル活用講座 2回 順調に事業が進んでいます。	a	女性の就労支援や資格取得を目標とした講座を実施する。 ・社会保険労務教室 30回 ・ビジネス実務法務3級 30回 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 32回 ・POPLタリング講座 10回 ・医療事務講座 43回 ・宅建基礎講座 68回 ・日商簿記3級講座 100回 ・介護事務講座 14回 ・女性のための再就職セミナー 7回 ・カラーコーディネーター3級講座 26回 ・ファイナンシャルプランナー3級講座 16回 ・調剤薬局事務講座 9回 ・Re・Beワークセミナー 5回 ・女性の再就職のためのエクセル活用講座 2回	17年度受講者数 延べ1,676人 18年度受講者数 延べ1,670人 19年度受講者数 延べ2,314人 20年度受講者数 延べ2,702人 21年度受講者数 延べ3,116人 (見込み)	女性会館

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

4-(2) 仕事と子育ての両立の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	ファミリー・サポート・センター事業 (5-(1)-8に掲載)	拡充		依頼会員 960人 提供会員 370人 依頼提供会員 55人 活動件数 5,000件		b	依頼会員に対して提供会員が少ないため、事業内容の周知と提供会員の増加を図る必要がある。また、センター設置目標数が3箇所であるが増設できなかったため。  (H17)→ (H20) 依頼会員 585人→928人 提供会 214人→323人 両方会員 25人→43人	保育課

2	学童保育事業 (5-(1)-1に掲載)	拡充	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。【1941人】	a	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で待機児童なく保育した。	平成21年度1941人 予算額439,085千円	教育財務課
3	病後児保育事業(施設型) (5-(1)-2に掲載)	新規	C	病児・病後児保育として、1施設で継続して事業を実施。 【1箇所・3人】	c	1施設で事業を開始したが、箇所・人数とも目標事業量に比べて整備が遅れているため。	1箇所・3人	保育課
4	一時保育事業 (5-(1)-3に掲載)	拡充	B	公立保育園5園、法人保育園8園で実施。 【13箇所・300人】(特定保育と一体化)	b	目標箇所数は達成していないが、人数は達成しているため。	13箇所・300人	保育課
5	特定保育事業 (5-(1)-4に掲載)	新規	B	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として、特定保育事業に相当する事業を実施。 【13箇所・300人】(一時保育と一体化)	b	目標箇所数は達成していないが、人数は達成しているため。	13箇所・300人	保育課
6	「つどいの広場」 (3-(2)-1に掲載)	新規	A	法人保育園2箇所が新規開設した。 【7箇所】	b	毎年度1~2箇所新規開設していったが、目標箇所数に達していないため。	公立1箇所 法人6箇所 計7箇所を実施	保育課
7	法人立保育所への支援 (5-(2)-7に掲載)	拡充	A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	a	法人立保育所の保育サービスの充実に努めている。	13園で実施	保育課
8	家庭保育室委託事業 (5-(2)-8に掲載)	拡充	A	平成21年度は、保育費、保育料軽減費、研修費の改正を実施して、委託事業を充実させている。	a	保育業務を家庭保育室に委託するにあたって、事業の充実に努めている。	19施設で実施	保育課
9	認可外保育施設への助成制度 (5-(2)-9に掲載)	拡充	D	助成制度について調査・研究を行っている。	c	財政的な問題もあり、助成が困難なため。	—	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援 (5-(2)-10に掲載)	拡充	D	事業なし	d	事業なし		保育課
11	幼稚園での預かり保育事業 (5-(2)-11に掲載)	拡充	A	(人数割) 1歳未満児 480,000×1=480,000 1~2歳児 300,000×69=20,700,000 3歳以上 170,000×380=64,600,000 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000	a	ほとんどの園で事業を実施し、利用者も増えている。	補助対象園園児数 H17 356人 H18 366人 H19 396人 H20 409人 H21 450人 (見込み)	保育課

(5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

5-(1) 地域における子育て支援サービスの充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	学童保育事業	拡充	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。【1941人】	a	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で待機児童なく保育した。	平成21年度1941人 予算額439,085千円	教育財務課
2	病後児保育事業(施設型)	新規	C	病児・病後児保育として、1施設で継続して事業を実施。 【1箇所・3人】	c	1施設で事業を開始したが、箇所・人数とも目標事業量に比べて整備が遅れているため。	1箇所・3人	保育課
3	一時保育事業	拡充	B	公立保育園5園、法人保育園8園で実施。 【13箇所・300人】(特定保育と一体化)	b	目標箇所数は達成していないが、人数は達成しているため。	13箇所・300人	保育課
4	特定保育事業	新規	B	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として、特定保育事業に相当する事業を実施。 【13箇所・300人】(一時保育と一体化)	b	目標箇所数は達成していないが、人数は達成しているため。	13箇所・300人	保育課
5	地域子育て支援センター事業	拡充	B	公立1箇所、法人2箇所を実施。 電話相談、育児相談。子育て講座の開催。 育児サークル支援。公民館等への出張支援。 子育ての情報提供。 国の補助金の再編により箇所数が増えた。 【3箇所】	b	適当な場所が見あたらず、前期目標の5箇所開設に至らなかった。 国の補助金の再編により箇所数が増えた。 【3箇所】	公立1箇所 法人2箇所 計3箇所	保育課
6	保育所による地域子育て支援事業	拡充	A	地域の親子への参加の呼びかけ。 園庭開放。育児サークル支援。 【33箇所】	a	認可園全てで実施できた。	公立20園 法人13園 計33園	保育課
7	「つどいの広場」 (3-(2)-1の再掲)	新規	A	法人保育園2箇所が新規開設した。 【7箇所】	a	毎年度1~2箇所新規開設していったが、目標箇所数に達していないため。	公立1箇所 法人6箇所 計7箇所	保育課

8	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	B	依頼会員 960人 提供会員 370人 依頼提供会員 55人 活動件数 5,000件	b	依頼会員に対して提供会員が少ないため、事業内容の周知と提供会員の増加を図る必要がある。また、センター設置目標数が3箇所であるが増設できなかったため。	(H17)→ (H20) 依頼会員 585人→928人 提供会 214人→323人 両方会員 25人→43人	保育課
9	家庭児童相談	拡充	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。	a	相談業務とともに養育支援訪問事業の立ち上げで、継続的で包括的な相談体制を確立できるよう努めた。	(各年度3月末現在) H17 3558件 H18 3404件 H19 2668件 H20 3443件 H21 3500件 (H21は見込み)	子育て支援課
10	女性のための相談事業	継続	A	母子自立支援員及び就業相談員兼母子自立支援プログラム策定員により、母子家庭等の自立を支援するため、日常生活上の悩みや経済上の問題、就労等についての相談に応じる。 H21 母子家庭相談 5946件 プログラム策定数 56件 (H21は見込み)	a	母子自立支援員により、母子家庭等の自立を支援するため、日常生活上の悩みや経済上の問題等についての相談に応じた。また、特に就労に関する問題については、平成19年度より就業相談員兼母子自立支援プログラム策定員を設置し、関係機関と協力し相談に応じた。	(各年度3月末現在) H17 母子家庭相談 3533件 H18 母子家庭相談 4856件 H19 母子家庭相談 5542件 プログラム	子育て支援課
			A	女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決するために相談に応じた。 ・カウンセリングルーム 94件 ・女性相談 96件	a	女性の人権を守り、女性が抱えるさまざまな問題を解決することができた。	1,033	男女共同参画課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

5-(2) 保育サービスの充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	通常保育事業	拡充	C	公立保育所20園、定員数1,730人 法人立保育所:13園、定員数905人 【2,635人】	c	目標事業量に比べ定員枠の整備が遅れているため。	2,635人	保育課
2	延長保育事業	拡充	B	全ての公立保育所において、1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施。民間保育所では、全13園で実施。実施園については所要額を助成。 【33箇所・1,020人】	b	現在、全ての認可保育所で実施しているが、目標事業量には達しないため。	1,020人 33箇所	保育課

3	統合保育事業	拡充	A	保育所において障害児保育を実施している。 平成21年4月時は、71人実施。	a	統合保育の充実に努めている。	71人	保育課
4	土曜保育事業	新規	A	平成21年4月から仙波町・神明町・霞ヶ関第二保育園において事業を開始したことにより、公立保育園7園で、土曜保育を実施。	c	全国実施には至っていないため。	公立保育園 7園	保育課
5	産休明け保育事業	新規	D	産休明け保育の実施について検討している。	d	待機児童が多い中では、家庭保育との連携が必要であるが、産休明け保育を実施すると、0～2歳を保育している家庭保育室の事業を圧迫してしまうため。	—	保育課
6	公立保育所の運営方法の検討	新規	D	調査研究中。	c	保育サービスの質の低下を招かぬよう、他市の事例等を詳細に調査・研究していく必要があるため。	—	保育課
7	法人立保育所への支援	拡充	A	民間保育所の運営の充実に図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	a	法人立保育所の保育サービスの充実に努めている。	13園で実施	保育課
8	家庭保育室委託事業	拡充	A	平成21年度は、保育費、保育料軽減費、研修費の改正を実施して、委託事業を充実させている。	a	保育業務を家庭保育室に委託するにあたって、事業の充実に努めている。	19施設で実施	保育課
9	認可外保育施設への助成制度	拡充	D	助成制度について調査・研究を行っている。	c	財政的な問題もあり、助成が困難なため。	—	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援	拡充	D	事業なし	d	事業なし		保育課
11	幼稚園での預かり保育事業	拡充	A	(人数割) 1歳未満児 480,000 × 1 = 480,000 1～2歳児 300,000 × 69 = 20,700,000 3歳以上 170,000 × 380 = 64,600,000 長期休業加算 30園 × 300,000 = 9,000,000 施設経費補助 30園 × 400,000 = 12,000,000	a	ほとんどの園で事業を実施し、利用者も増えている。	補助対象園園児数 H17 356人 H18 366人 H19 396人 H20 409人 H21 450人 (見込み)	保育課

12	保育士研修	継続	A	<p>“公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児保育研修 20回 参加者 160人</li> <li>・障害児保育研修 30回 参加者 600人</li> <li>・こどもの病気予防救急法の研修 40回 参加者 500人</li> <li>・食育に関する研修 30回 参加者 250人</li> <li>・心とからだの発達に関する研修 100回 参加者 3,000人</li> <li>・各年齢別研究会での学習会 25回 参加者 500人</li> </ul>	a	<p>“公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児保育研修</li> <li>・障害児保育研修</li> <li>・こどもの病気予防救急法の研修</li> <li>・食育に関する研修</li> <li>・心とからだの発達に関する研修</li> <li>・各年齢別研究会での学習会</li> </ul>	<p>H19 232回 4,794人 H20 260回 5,498人 H21 245回 5,010人(見込み)</p>	保育課
13	保育サービス評価の仕組みの導入検討	新規	B	公立園1園で実施	c	法人園での実施ができなかった。	<p>H18 高階保育園 H19 中央保育園 H20 仙波町保育園 H21 名細保育園</p>	保育課
14	認証保育所制度の検討	新規	C	他市の状況を調査研究する。	c	家庭保育室制度、認定こども園制度との整合性を図る必要があるため。		保育課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

5-(3) 子どもの健全育成の取組

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	子どもに関する条例	新規	C	他の自治体の子ども条例の研究を行う。	c	具体的な取組の骨子が未定である。		教育指導課 人権推進課 青少年課 子育て支援課
2	人権保育	拡充	A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進する。	a	人権保育推進の充実に努めている。	公立保育園 20園で実施	保育課
3	児童手当	継続	A	家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するため、児童を養育している者に手当を支給した。(所得制限あり)	a	・家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するため、児童を養育している者に手当を支給した。(所得制限あり) ・平成18年度に3歳以上小学校第3学年修了前の児童に係る特例給付の支給期間が3歳以上小学校修了前までに延長されたと同時に所得制限限度額が緩和された。	受給者数の推移 (各年度3月末現在) H17 14,638人 H18 19,189人 H19 19,270人 H20 19,440人 H21 19,611人 (見込)	子育て支援課
4	就園奨励費	継続	A	国庫補助対象者の他、国庫補助対象外の方についても継続して市単独での補助を実施している。	a	国庫補助対象者については、毎年、単価を増額しているが、平成21年度は、対象外(市単独分)の方についても単価の引き上げを行った。	平成21年度予算額 437,290	教育財務課
5	スポーツ少年団 (2-(3)-7の再掲)	継続	A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上をはかった。また、体カテスト会を実施し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	a	団相互の交流、指導者や母集団等の研修会の開催、体カテスト会の開催等により、子供の体力向上、心身の健康的な成長に寄与することができた。現在56団体が少年団として活動しており、若手の指導者の育成も図られ、活動の質的充実が推進されている。		市民スポーツ課
6	学校体育施設開放事業 (2-(3)-8の再掲)	継続	A	小学校33校(旧古谷東小含む)、中学校20校で体育施設開放を実施した。学校開放委員会を中心に体育施設の活用が計画的に行われ、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。体育館等の耐震工事のため、利用日数が昨年度より減少してしまう学校施設がいくつかあった。	a	9割を超える学校において、体育施設の開放を実施することができた。計画的な施設の活用により多くの住民がスポーツを楽しむことができた。青少年のスポーツ活動も盛んになってきており、異年齢間・世代間交流も推進することができた。		市民スポーツ課



7	地域組織活動への研修	拡充	A	保健推進員に対して、ブロック会議等の場を用いて市の母子保健事業の情報提供等を行い、保健推進員が地域で母子に関する活動を推進する際の支援をした。	a	毎年、保健推進員のブロック会議、研修会等で母子保健に関する情報や、学びの場を提供した。	保健推進員研修会会議数 H17年度(3回) H18年度(3回) H19年度(4回) H20年度(1回) H21年度(4回)	健康づくり支援課
8	児童館	拡充	A	新たな公共施設の整備に合わせ、複合施設としての児童館機能の導入について検討する。	a	平成20年5月、高階市民センター内に高階児童館がオープンした。	児童館数 3館	青少年課
9	児童遊園	継続	A	市内168箇所の児童遊園について、平成20年度に実施した安全点検等に基づき、遊具の修繕等を行う。 ・遊具の修繕等 延べ50箇所	a	児童遊園の整備・充実が図られた。	新設数 1箇所 修繕等 延べ279箇所	青少年課
10	児童館機能の整備 児童センターこどもの城	継続	A	開館日数 306日 利用者数 57,000人 【内訳】 個人利用 29,000人、集団指導 19,000人 団体利用 3,650人、プラネタリウム 5,310人 天体観測 40人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児親子活動 110回6,550人 ・学童自由参加活動 136回2,950人 ・学童登録参加活動 15回300人 ・クラブ活動 61回800人 ・体力増進指導活動 402回8,400人	a	青少年健全育成並びに子育て支援に係る各種サービスの提供に努めた。	開館日数 1,515日 延べ利用者数 268,157人	青少年課 (児童センター)
	児童館機能の整備 川越駅東口児童館	継続	A	開館日数 306日 利用者 50,000人 【内訳】 個人利用 39,000人 集団指導 10,980人 団体利用 20人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 170回 9,680人 ・学童対象 90回 900人 ・児童対象 14回 400人	a	青少年健全育成並びに子育て支援に係る各種サービスの提供に努めた。	開館日数 1,539日 延べ利用者数 256,740人	青少年課 (東口児童館)

	児童館機能の整備 高階児童館	継続	A	開館日数 307日 利用者 56,000人 【内訳】 個人利用 46,000人 集団指導 9,700人 団体利用 300人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 120回 8,500人 ・学童対象 200回 1,000人 ・児童対象 2回 200人	a	青少年健全育成並びに子育て支援に係る各種サービスの提供に努めた。	平成20年5月1日 オープン 開館日数 590日 延べ利用者数 113,533人	青少年課 (高階児童館)
11	青少年市民会議	継続	A	青少年健全育成活動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係機関・団体と協働して各種事業を実施する。 ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 5地区 ・青年海外協力隊激励 5人 ・青少年健全育成市民大会参加者 500名	a	市民会議の構成員である各種機関・団体の連携の下、同団体の設立目的を十分に達成している。		青少年課
12	青少年団体	継続	A	青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図る。 【補助金交付対象団体】 ・川越市青少年相談員協議会 ・川越市青少年団体連絡協議会加盟4団体	a	青少年団体の自主活動の推進が図られた。		青少年課
13	「子ども110番の家」	継続	A	青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付する。 ・子ども110番実施地区会議 17地区会議	a	子ども110番の家事業の実施により、子供たちにとって安全で安心な環境づくりが図られた。		青少年課
14	青少年の体験活動事業	継続	A	次代を担う青少年の健全育成を図るため、第8回川越市少年の翼事業を実施する。 【事業概要】 ・事前研修3回 ・本研修(4泊5日、北海道中札内村他) ・研修生(市内中学生44名)	a	次代を担う青少年の健全育成が図られた。	研修生 220名	青少年課

15	非行防止活動	継続	A	川越市少年指導センターで行う街頭補導活動及び相談業務等を通じて、問題行動等の早期発見・早期指導により、青少年非行の未然防止に努める。 ・街頭補導回数 680回 ・延べ補導員数 3,100人 ・声かけ数 3,200回 ・相談件数 延べ30件	a	街頭補導活動及び相談業務等を通じて、青少年非行の未然防止、子供たちの規範意識の向上が図られた。	・街頭補導回数 3,419回 ・延べ補導員数 15,364人 ・声かけ数 13,556回 ・相談件数 延べ232件	青少年課
16	不登校児童生徒支援スタッフ事業	継続	E	平成18年度末にて終了。川越市さわやか相談員を中学校全校に派遣することができるようになったため、本事業は終了した。	a	平成19年度から、川越市さわやか相談員を中学校全校に派遣することができるようになったため、本事業は終了した。平成18年度までは、中学校11校にさわやか相談員が配置され、残りの11校にサポートスタッフを配置したため、生徒の教育相談活動の充実を図ることができた。		教育研究所
17	適応指導教室	継続	A	教育総合相談センター(リバーラ)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。	a	高等学校やサポート校等、生徒が自分自身にあった進路を選択することができた。		教育研究所
18	地域子どもサポート推進事業	拡充	A	各地区での事業数、参加者数も増えている。学校応援団の活動もますます活発に行われるようになってきている。	a	子どもサポート事業も軌道に乗り、各地域で自主的な活動が展開されている。地域の特色を生かした事業、学校応援団事業ともに内容も充実しているが、地域差がなくなるよう情報交換、合同事業、人材派遣等を行っていくことが課題である。		生涯学習課
19	ブックスタート事業	継続	A	4ヶ月健診会場等で親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、親子とあかちゃんに絵本を渡した。	a	4ヶ月健診会場等で親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、親子とあかちゃんに絵本を渡す。		中央図書館
20	いないいないばあのおはなし会	継続	A	0歳から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。	a	0歳から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行う。		中央図書館
21	民生委員・児童委員研修会	継続	A	民生委員・児童委員研修 ・新任者研修 ・中堅者研修 ・主任児童委員研修 ほか 民生委員児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努める。	a	新任者研修、中堅者研修、主任児童委員研修等を実施し、子育て、子供の地域生活等の相談・支援活動の向上に貢献できた。	新任者研修 中堅者研修 主任児童委員研修 各年1回実施	生活福祉課

22	スチューデントサポーター派遣事業	継続	A	心理を学ぶ学生が、不登校やその傾向にある児童生徒に対し、家庭訪問や学校での相談や学習補助を行った。	a	家庭訪問や学校での相談活動や共同作業、また学習補助を行い、不安や悩みの解消を助けたり、生活リズムの改善を進めたりすることで、登校や教室復帰を支援した。	教育研究所
----	------------------	----	---	---	---	---	-------

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

【達成状況】 a: 順調 b: やや遅れている c: 遅れている d: 未実施 e: 終了

5-(4) 体験活動・交流の促進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	川越PTA連合会活動	継続	A	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施した。PTAの5委員会で実施。	a	川越市小・中学校PTA常置委員の研修を深めて、PTA活動の充実、推進を図り、各PTAの行う常置委員会活動の向上を図ることができた。	毎年約480人ほど参加。	生涯学習課
2	子育て体験学習(1-(3)-3の再掲)	新規	D	関係機関との連携が図られていないため未実施。	d	関係機関との連携が図られていないため未実施。		健康づくり支援課
3	川越市子ども会育成者団体連絡協議会活動	継続	A	広報誌の発行により、子ども会活動を広く理解・周知させることができた。	a	継続的に事業を進めているため、目標とする課題が順調に達成されている。		生涯学習課
4	地域人材活用事業	継続	A	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、地域人材を活用し多様な教育活動や体験活動が展開できるようにした。 実施予定数…440、実施数…440 実施率…100%	a	各学校が特色ある学校づくりを推進していくため地域の人材を活用した。道徳、学級活動、総合的な学習の時間、中学校部活動等において多様な学習機会を提供することができた。	実施率 17年度…92% 18年度…100% 18年度…99% 20年度…99%	学校管理課
5	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	継続	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。	a	全中学校がそれぞれ計画通りに実施し、体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。	平成21年度 参加生徒数2941名 協力事業所 530社	教育指導課
6	生きがい活動支援通所事業	継続	D	毎年度、霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したデイサービスセンターを在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を行ってきたが、平成21年度は新型インフルエンザの流行のため、実施を見合わせている。	b	新型インフルエンザ流行のため、平成21年度は未実施。		高齢者いきがい課
7	体験学習(小学生対象)	継続	A	事業実績(見込): 18講座 キャンプや農業体験、ネイチャーゲームや合宿通学などの講座を各公民館で計画した。	a	自然体験や社会体験を通して「生きる力」を育むことを目的とするため、講座の内容を見直し、個々の講座について学習内容の充実を図った。	講座数・延参加者数 17:23講座1,146人 18:23講座2,425人 19:19講座4,400人 20:18講座3,867人	中央公民館

8	土曜体験教室 (2-(2)-14の再掲)	継続	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。22回実施	a	毎月2回(8月を除く)、プログラムも毎年数種類短時間でできる内容で更新し、実施できた。	108講座	博物館
9	子ども博物館教室 (2-(2)-15の再掲)	継続	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習、はにわ作りなどの体験を行った。3回実施	a	1日かけてじっくり取り組めるプログラムで実施した。川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容で毎年数種類更新して実施した。	15講座	博物館
10	夏休み子ども体験 (2-(2)-16の再掲)	継続	A	学校との連携を図り、夏季休業日を利用して学校教育との連動した学習の場として、ミニ縄文土器や街並み見学ツアーの体験を行った。3回実施	a	夏季休業日を利用して博物館に来館し、興味を持って取り組める内容で実施できた。	16講座	博物館
11	昔の遊び (2-(2)-17の再掲)	継続	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にベーゴマ回しや割り箸鉄砲作りの体験を行った。2回実施	a	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として、市ボランティアの協力を得て実施できた。	10講座	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	D	ドイツオフエンバッハ市に中学生交流団を派遣する予定だったが、新型インフルエンザの影響で事業を中止した。	a	毎年、市内中学校生徒を海外姉妹都市3市のいずれかに派遣した。参加生徒はホームステイ等を通じて現地の人と交流し、国際理解と友好親善を深めることが出来た。	年間派遣件数 17年度~20年度 各1件 (21年度は中止)	国際交流課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

5-(5) 地域における子育て支援のネットワークづくり

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	「つどいの広場」 (3-(2)-1の再掲)	新規	A	法人保育園2箇所が新規開設した。	a	毎年度1~2箇所新規開設していった。	公立1箇所 法人6箇所 計7箇所を実施	保育課
2	地域子育て支援センター 事業 (5-(1)-5の再掲)	拡充	B	公立1箇所、法人2箇所を実施。 電話相談、育児相談。子育て講座の開催。 育児サークル支援。公民館等への出張支援。 子育ての情報提供。 国の補助金の再編により箇所数が増えた。 【3箇所】	b	適当な場所が見あたらず、前期目標の5箇所開設に至らなかった。 国の補助金の再編により箇所数が増えた。 【3箇所】	公立1箇所 法人2箇所 計3箇所を実施。	保育課

3	保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6の再掲)	拡充	A	地域の親子への参加の呼びかけ。 園庭開放。育児サークル支援。	a	認可園全てで実施できた。	公立20園 法人13園 計33園で実施。	保育課
4	子育てサークルへの出前講座	拡充	A	公民館、自治会館等で自主的に活動する子育てサークルからの育児相談、子育て講座等の依頼により、保育士が出向き、協力する。 サークル支援 60回	a	目標数値を達成できた。	サークル支援 年間77回 (平成20年度実績)	保育課
			A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。	a	サークルの依頼に対して出前講座を行うことで、子どもの心身の健康についての啓発、相談、指導を行うことができ、子育て支援を行うことができる。	H17:13回466人 H18:12回362人 H19:10回255人 H20:4回118人 H21:3回93人	健康づくり支援課
5	子育てサークルへの施設提供	新規	A	各公民館で子育てサークルへ活動の場の提供をしている。	a	各公民館で子育てサークルへ活動の場の提供を行った。		中央公民館
6	子育てサロン事業	拡充	A	事業実績(見込):19講座 全公民館で月1回~3回開催している。	a	各公民館が個別に開催してきた子育てサロンを全館的視野で捉え直した。市内を4ブロックに分け、対象人口を考慮し開催数を増やしていった。参加者も年々増え、多くの人に子育ての悩みや情報を分かち合う場を提供することができた。	開催数・延参加者数 17:240回 9,155人 18:273回10,697人 19:280回11,530人 20:282回11,998人	中央公民館
7	子育てサポーター養成講座	継続	A	事業実績(見込):1講座 現在、実施に向けて企画中	a	地域の中で子育てを支援してくれるサポーターを養成し、現在多くのサポーターが活躍している。	講座数・延参加者数 17:2講座 192人 18:2講座 95人 19:1講座 101人 20:2講座 147人	中央公民館

8	子育てネットワーク事業	新規	A	「要保護児童対策地域協議会」の実務者会議を「子育てネットワーク」として位置づけ、子育て支援に関して連携を図った。 8回	a	「児童虐待防止ネットワーク」からH19年度に現在の「要保護児童対策地域協議会」と名称を変更し、実務者会議の充実を図った。	H17 実務者会議 6回 H18 実務者会議 6回 H19 実務者会議 6回 H20 実務者会議 7回 H21 実務者会議 8回 (H21は見込み)	子育て支援課
---	-------------	----	---	--	---	--	---	--------

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

5-(6) 子育て情報提供の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	育児情報発信活動	拡充	A	川越子育て情報誌「子育てわくわく」を2,200部作成、母子手帳と配布。毎月子育て情報紙を1,300部発行、公民館等で配布。ホームページに掲載。子育て講座を広報に掲載。	a	子育て情報誌「子育てわくわく」を平成19年度に発刊できた。その他、毎月子育て情報紙を発行、広報に子育て講座を掲載し、定期的な情報提供に努めた。また、ホームページに掲載し、幅広い情報提供に努めた。	川越子育て情報誌2,200部作成。 子育て情報紙を毎月1,300部発行。	保育課
2	育児サークル支援	拡充	A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。	a	サークルの依頼に対して出前講座を行うことで、子どもの心身の健康についての啓発、相談、指導を行うことができ、子育て支援を行うことができる。	H17:13回466人 H18:12回362人 H19:10回255人 H20:4回118人 H21:3回93人	健康づくり支援課
				サークル支援 60回 今年度、高階地区に育児サークルが1団体立ち上がり、支援した。 内容～手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、ペープサート、製作、ミニ勉強会等				a

(6)基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

6-1) 児童虐待防止対策の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	育児家庭支援事業	拡充	B	養育支援訪問事業を立ち上げた。 健康づくり支援課と調整会議を実施した。	c	要保護児童支援として個別ケース会議を定期的に開催し、支援方針を検討した。 養育支援訪問事業は、20年度まで関係課と協議したが進まなかった。	平成17年度 受理 ケース 132件 検 討ケース 32件 平成18年度 受理 ケース 145件 検 討ケース 74件 平成19年度 受理 ケース 154件 検 討ケース 78件 平成20年度 受理 ケース 56件 検 討ケース 43件 平成21年度 受 理ケース 60件 検 討ケース 50件 (H 21は見込み)	子育て支援課
2	家庭児童相談 (5-(1)-9の再掲)	拡充	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。	a	相談業務とともに養育支援訪問事業の立ち上げで、継続的で包括的な相談体制を確立できるよう努めた。	(各年度3月末現在) H17 3558件 H18 3404件 H19 2668件 H20 3443件 H21 3500件 (H21は見込み)	子育て支援課



3	要保護児童対策地域協議会 (児童虐待防止ネットワーク会議)	拡充	A	要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、当協議会において関係機関や関係者が情報や考え方を共有し、適切な連携の下で、要保護児童支援を行うため協議した。	a	川越市児童虐待防止ネットワーク会議をH17年12月1日川越市要保護児童対策地域協議会に改め、虐待防止対策を強化した。	H17 代表者会議 3回 実務者会議 6回 H18 代表者会議 2回 実務者会議 6回 H19 代表者会議 2回 実務者会議 6回 H20 代表者会議 1回 実務者会議 7回 H21 代表者会議 1回 実務者会議 8回 (H21は見込み)	子育て支援課
4	ふれあい親子支援事業	継続	A	コアラの会(育児不安が強く支援が必要な保護者のグループミーティング)の開催 ・開催回数 12回	a	育児不安の強い保護者を支援することで、育児機能の修復を図ることができる。	延参加者数 H17:12回134人 H18:12回140人 H19:12回121人 H20:12回111人 H21:12回100人 (見込み数)	健康づくり支援課
5	保健師による訪問指導	継続	A	児童虐待予防のため、訪問による指導が必要な母子に対し、保健師等による訪問指導の実施。要支援者への関わりの学びを深めるため、講師を招いての事例検討会を実施している。	a	訪問指導については、年々対象者が抱える問題点がより複雑化・深刻化しており、担当する保健師等の資質向上のため、講師を招いた事例検討会を実施し、従事者の資質向上を図ることができた。訪問件数も毎年増えている。	訪問実績(訪問指導再掲) H17:336人 H18:402人 H19:555人 H20:631人 H21:700人 (見込み数)	健康づくり支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

6-(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	母子家庭相談	継続	A	母子自立支援員が母子家庭等の様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じる。 また、父子家庭についても、積極的に相談に応じる。 H21 母子家庭相談 5946件 (H21は見込み)	a	母子自立支援員が母子家庭等の様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じた。 また、父子家庭についても、今後積極的に相談に応じる体制を整えた。	(各年度3月末現在) H17 母子家庭相談 3533件 H18 母子家庭相談 4856件 H19 母子家庭相談 5542件 H20 母子家庭相談 5634件 H21 母子家庭相談 5946件 (H21は見込み)	子育て支援課
2	母子家庭等日常生活事業	継続	A	母子家庭等の親又は児童が日常生活に一時的な支障が生じた場合、支援員を派遣して必要な支援をする。 H21 派遣世帯 2件(延40時間) (H21は見込み)	a	母子家庭等の親又は児童が日常生活に一時的な支障が生じた場合、支援員を派遣して必要な支援をした。 しかし派遣世帯は少なく、今後のニーズ把握、広報等は課題である。	(各年度3月末現在) H17 派遣世帯 2件(延63時間) H18 派遣世帯 2件(延51時間) H19 派遣世帯 0件(延 0時間) H20 派遣世帯 2件(延34時間) H21 派遣世帯 2件(延40時間) (H21は見込み)	子育て支援課

3	高等技能訓練促進費支給事業	継続	A	母子家庭の母の生活の安定を図るために2年以上の養成機関で修業する場合に、受講中の全期間につき訓練促進費を支払う。 H21 支給件数 13件 (対象資格:看護師) (H21は見込み)	a	母子家庭の母の生活の安定を図るために2年以上の養成機関で修業する場合に、訓練促進費を支払った。 平成21年2月に支給期間を1/3から1/2へ変更した。 平成21年6月に支給期間を全期間へ、支給金額を10万3千円から14万千円へ変更した。 児童扶養手当の現況時等に事業の周知を行った。	(各年度3月末現在) H17 支給件数 4件 (対象資格:看護師・介護福祉士) H18 支給件数 4件 (対象資格:看護師) H19 支給件数 6件 (対象資格:看護師) H20 支給件数 10件 (対象資格:看護師) H21 支給件数 13件 (対象資格:看護師) (H21は見込み)	子育て支援課
---	---------------	----	---	---	---	--	--	--------

4	母子寡婦福祉資金	継続	A	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立の助成・生活意欲の助成を図り、併せてこれらの児童等の福祉を増進するため、必要な資金を貸付ける。 また償還期間の到来した資金の償還も合わせて行う。 H21 貸付件数 母子 95件 寡婦 2件 (H21は見込み)	a	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立の助成・生活意欲の助成を図り、併せてこれらの児童等の福祉を増進するため、必要な資金を貸付けた。 また償還期間の到来した資金の償還も合わせて行った。 償還対策のための会議を開催し、戸別訪問・対応を実施した。	(各年度3月末現在) H17 貸付件数 母子121件  寡婦 3件 H18 貸付件数 母子109件  寡婦 3件 H19 貸付件数 母子 96件  寡婦 1件 H20 貸付件数 母子 91件  寡婦 2件 H21 貸付件数 母子 95件  寡婦 2件 (H21 は見込み)	子育て支援課
5	児童扶養手当	継続	A	父親がいない又は父親が重度の心身障害を持つ家庭で、18歳になる年の年度末等までの児童を養育している者に手当を支給した。	a	父親がいない又は父親が重度の心身障害を持つ家庭で、18歳になる年の年度末等までの児童を養育している者に手当を支給した。	受給資格者数の推移 (各年度3月末現在) H17 2,097人 H18 2,228人 H19 2,330人 H20 2,298人	子育て支援課
6	川越市遺児手当	継続	A	父母のいない(父母が児童と別居し、扶養していない場合も含む)義務教育修了前の児童を養育している者に手当を支給した。	a	父母のいない(父母が児童と別居し、扶養していない場合も含む)義務教育修了前の児童を養育している者に手当を支給した。	対象児童数の推移 H17 12人 H18 13人 H19 23人 H20 28人	子育て支援課

7	母子自立支援施設すみれ館	継続	A	母子家庭又はそれに準ずる事情の家庭で、その監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子ともに入所させ保護・指導を行うとともに自立を支援した。また退所した母子の生活状況に努めた。	a	母子家庭又はそれに準ずる事情の家庭で、その監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子ともに入所させ保護・指導を行うとともに自立を支援した。また退所した母子の生活状況に努めた。	入所世帯数 H17 65世帯(人数178人) H18 19世帯(人数54人) H19 32世帯(人数89人) H20 48世帯(人数126人) H21 50世帯(人数140人) (H21は見込み)	子育て支援課
8	ひとり親家庭等医療費の助成	継続	A	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給する。 支給件数 26,309件 支給額 61,000,000円	a	ひとり親家庭等の生活の安定と自立支援のため、医療費の一部を支給した	平成20年度 支給件数 23,567件 支給額 57,822,446円	医療助成課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

6-(3) 障害児施策の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	生活サポート事業	継続	A	9月末現在 2,704,875円	a	在宅の障害児が一時預かり等のサービスを身近な地域で利用できるようにするとともに、所得に応じその利用料の自己負担分に対して補助を行い、負担の一層の軽減を図った。	—	障害者福祉課
2	緊急一時保護事業	継続	A	9月末現在 保護件数135件 利用人数30人	a	保護者または家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護が必要となった障害児の一時保護を行い、地域生活を支援した。	—	障害者福祉課
3	障害児への補装具等の交付	継続	A	9月末現在 交付…58件、7,102,714円 修理…27件、1,031,826円	a	日常生活の向上を図るため、障害児の身体機能を補完する装具等の費用を支給した。	—	障害者福祉課

4	障害児への各種手当の支給	継続	A	児童の心身の健やかな成長に資するため、在宅の障害児を育てている方に、特別児童扶養手当を支給した(支給要件有)。	a	児童の心身の健やかな成長に資するため、在宅の障害児を育てている方に、特別児童扶養手当を支給した(支給要件有)。	H17 受給者数 327人 H18 受給者数 328人 H19 受給者数 333人 H20 受給者数 369人 H21 受給者数 380人 (H21は見込み)	子育て支援課
			A	9月末現在 14,380円×774人=11,130,120円 (延べ人数)	a	重度障害児に対し、障害児福祉手当を支給することにより、経済的及び精神的負担の軽減を図った。	—	障害者福祉課
5	障害児者地域療育等支援事業	継続	E	事業廃止。	e	平成18年10月より、障害者相談支援事業へ移行した。	—	障害者福祉課
6	障害者総合相談会	継続	A	9月末現在 延べ219件	a	身体・知的・精神障害及び発達障害者の専門の相談員が、合同で、様々な問題を持つ障害者の相談に応じる相談会を実施した。	—	障害者福祉課
7	紙おむつ給付事業	継続	A	9月末現在 利用人数152人 3,914,469円(延べ906人利用)	a	在宅で常時失禁状態等にある障害児(者)に対し、月額5,000円の範囲で紙おむつを自宅に配送するサービスを実施し、日常生活の負担軽減を図った。	—	障害者福祉課
8	統合保育事業 (5-(2)-3の再掲)	拡充	A		a			保育課

9	グループ指導会	継続	A	家庭児童相談員が主に発達につまづきのある3才児を対象に将来の集団生活に備えて、小グループにおいてプレイセラピーを中心とした発達支援を行った。	a	家庭児童相談員が主に発達につまづきのある3才児を対象に将来の集団生活に備えて、小グループにおいてプレイセラピーを中心とした発達支援を行った。	H17 32回(延453人) H18 32回(延386人) H19 30回(延660人) H20 30回(延726人) H21 32回(延750人) (H21は見込み)	子育て支援課
10	家庭児童相談	継続	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。	a	相談業務とともに養育支援訪問事業の立ち上げで、継続的で包括的な相談体制を確立できるよう努めた。	(各年度3月末現在) H17 3558件 H18 3404件 H19 2668件 H20 3443件 H21 3500件 (H21は見込み)	子育て支援課
11	障害のある子どもに対する教職員研修事業	継続	A	障害のある児童生徒の理解の推進と、校内支援体制の整備に向け、研修を実施した。特別支援教育コーディネーター養成研修2回 101名参加 就学相談担当者研修会1回 49名参加 発達障害の理解と指導法研修会3回 49名参加 特別支援教育指導員研修会1回 90名	a	研修の充実により、特別支援教育への啓発と支援方法の理解が深まった。		教育研究所
12	肢体不自由児認可通園施設	新規	B	ひかり児童園移転改築に向け調査・研究を実施する。	b	関係課による会議を行ったほか、他市の施設を視察するなど検討を行った。		保育課
13	障害のある子どもに対するサポート事業	継続	A	通常の学級に在籍するLD・ADHD等の障害のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター18人を年間80日派遣した。	a	個別学習指導や一斉学習指導における個別支援や適応指導等を通して、小学校・中学校に適切な援助を行うことができた。		教育研究所
14	特別支援教育	継続	A	介助等を必要とする児童生徒が在籍する市立小・中・養護学校に、特別支援教育支援員(臨時指導員)を配置した。	a	児童生徒の学習活動における介助を実施することで、障害のある児童生徒への教育の充実を図ることができた。		教育研究所

15	ダウン症のある子どもを持つ親の会 (1-(1)-26の再掲)	継続	A	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 うち2回、外部講師による講演会	a	ダウン症という同じ悩みを持つ者同士が情報交換等を行い、不安の解消、育児支援に役立っている。	参加者数 H17:11回166組 H18:11回113組 H19:11回88組 H20:11回58組 H21:11回60組 (見込み数)	健康づくり支援課
16	すくすくクリニック (1-(1)-28の再掲)	継続	A	未熟児及び主に4か月児健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子どもを対象に、診察・相談を実施。 実施回数 12回	a	専門医師による診察及び保健師・栄養士による相談の実施により、成長発達を正しく評価しながら必要時適切な機関へ結びつけ、育児不安の解消に役立っている。	受診者数 H17:12回 65人 H18:12回 67人 H19:12回 53人 H20:12回 58人 H21:12回 65人 (見込み数)	健康づくり支援課
17	発育・発達クリニック (1-(1)-29の再掲)	拡充	A	乳幼児健診・相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 実施回数 12回	a	診察・発達テスト・相談の実施により、成長発達を正しく評価しながら必要時適切な機関へ結びつけ、育児不安の解消に役立っている。	受診者数 H17:12回 92人 H18:12回 80人 H19:12回 76人 H20:12回 84人 H21:12回 85人 (見込み数)	健康づくり支援課
18	こどもの心の健康相談 (1-(1)-30の再掲)	拡充	A	乳幼児健診・相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 実施回数 12回	a	診察・発達テスト・相談の実施により、成長発達を正しく評価しながら必要時適切な機関へ結びつけ、育児不安の解消に役立っている。	受診者数 H17:12回 54人 H18:12回 66人 H19:12回 52人 H20:12回 62人 H21:12回 65人 (見込み数)	健康づくり支援課
19	身体障害児育成医療給付 (1-(4)-4の再掲)	継続	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行う。	a	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行っている。	受給状況 H17:102人 H18:135人 H19:97人 H20:115人 H21:167人 (見込み数)	健康づくり支援課
20	小児慢性特定疾患医療給付 (1-(4)-6の再掲)	継続	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	a	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行っている。	受給状況 H17:233人 H18:251人 H19:242人 H20:231人 H21:250人 (見込み数)	健康づくり支援課



(7)基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

7-1) 良質な住宅・良好な居住環境の確保

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	特定優良賃貸住宅	継続	D	新規供給計画の申請が見込めない	d	新規供給計画の認定実績がなし。 制度上、家賃補助の終了により入居者負担が増加するため、既存住宅において空室が散見される状況である。計画期間内に用途廃止により18戸減少している。このような状況では、新規計画の認定は困難である。		住宅課
2	公営住宅における優先入居	継続	B	募集方法を困窮度判定から抽選に変更したことにより、年1回の申込みから2回となったが、母子世帯の優遇だけとなってしまった	a	今年度の募集方法を抽選に変更したが、来年度以降は抽選方式に困窮度判定を加える予定であり、そのための条例改正を予定している。これにより、母子世帯のみならず多子・子育て世帯への優遇も見直しできることになる。		住宅課
3	シックハウス対策	継続	A	建築確認申請が提出されると、建築基準法に適合しているか審査する。	a	建築確認申請が提出されると、建築基準法に適合しているか審査した。	—	建築指導課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

7-2) 安全な道路交通環境の整備

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	歩行空間のバリアフリー化	継続	A	該当なし	a	都市計画道路寺町通り線427mを整備しました。		街路課
				歩道付き道路の整備を1910mを予定	a	歩道付き道路の整備を2,466mを予定		道路建設課
				歩道付き道路の整備を320mを予定。 (内訳48m+154m+118m)	a	歩道付き道路の整備を356mを予定。 (H20-36m+H21-320m)		道路環境整備課
2	屋外広告物の撤去	継続	A	張り紙 1624枚 ※9月末時点での除却数 立看板 52個 張り札 3011枚 合計 4687	a	違反広告物の掲出数そのものが年々減少傾向にあり、市民ボランティアの方々による地域に密着した除却活動の成果が着実に現れている。	張り紙 14623枚 張り札 48544枚 立看板 4510個 合計 67677	都市景観課

3	生活道路における安全対策	継続	A	路面標示等による事故防止対策を実施している。	a	路面標示等による事故防止対策を実施。	17年度141箇所18年度130箇所19年度120箇所20年度167箇所	安全安心生活課
4	カーブミラーの整備	継続	A	カーブミラーの新設・修繕を実施している。	a	カーブミラーの新設・修繕を実施。	17年度新設77基修繕203基18年度新設79基修繕256基19年度新設68基修繕262基20年度新設93基修繕200基	安全安心生活課
5	交通安全看板	継続	A	警戒標識・注意看板の設置を実施している。	a	警戒標識・注意看板の設置。	17年度50基18年度50基19年度84基20年度57基	安全安心生活課
6	道路照明灯	継続	A	道路照明灯の新設予定である。	a	道路照明灯の新設。	17年度5基18年度3基19年度4基20年度7基	安全安心生活課
7	信号機	継続	A	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、信号機設置箇所等について川越警察署と連携を図っている。	a	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、信号機設置箇所等について川越警察署と連携を図ります。		安全安心生活課
8	市内循環バス(川越シャトル)	継続	A	鉄道駅を中心とした住宅地や公共施設への交通手段として、市内循環バス(川越シャトル)を運行した。	a	平成18年12月の路線見直し以降、利用者数、運賃収入ともに増加傾向で順調に推移している。		都市交通政策課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

7-(3) 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	ユニバーサルデザインによる都市公園等の整備	継続	A	「よつや公園ほか1公園健康遊具修繕工事」において、健康遊具を修繕。	a	公園内に健康遊具(介護予防遊具)を順次設置及び整備し、既存の公園の有効利用と市民の健康づくりの推進に寄与した。	延べ7公園の整備及び修繕を実施	公園整備課
2	旅客施設、車両等のバリアフリー化	継続	A	東武東上線鶴ヶ島駅のバリアフリー施設整備を行った。 ノンステップバス導入に対して補助を行った。(1台)	a	駅施設のバリアフリー化は順調に進んでおり、平成22年度にはバリアフリー新法で対象となる全ての駅についてバリアフリー化が完了する予定。 ノンステップバス導入についても、補助を行うことによりバス事業者の導入時の負担が軽減され導入の促進が図られている。	市内12駅中バリアフリー対応の駅数9駅(地平駅含む) ノンステップバス導入率75%(平成21年4月1日現在)	都市交通政策課

3	バリアフリー法(H18.6.21公布 H18.12.20施行)	継続	A	建築基準法第6条1項に基づく審査及び、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に基づき、届出がされたものを認定する。	a	建築基準法第6条1項に基づく審査及び、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に基づき、届出がされたものを認定した。	—	建築指導課
			A	芳野台南公園便所新築工事	a	同法の主旨を十分に配慮し、設計が成された。		建築課
4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	A	都市計画道路川越駅南大塚線340mを整備予定です。	a	都市計画道路三田城下橋線、川越駅南大塚線の歩道を整備しました。		街路課
			A	歩道付き道路の整備を1910mを予定	a	歩道付き道路の整備を2,466mを予定		道路建設課
			A	歩道付き道路の整備を320mを予定。(内訳48m+154m+118m)	a	歩道付き道路の整備を356mを予定。(H20-36m+H21-320m)		道路環境整備課
5	本庁舎のバリアフリー化	継続	A	分室玄関を、開き戸から引戸へ改修し、強風時等も開閉しやすくする。トイレを改修し、段差の解消、引戸に改修、手すりの設置等を行う。	a	本庁舎全エレベーター内及び東側階段に手すりを設置する。本庁舎階段の主要部分にノンスリップラバーを取り付ける。		管財課
6	本庁舎における、子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	継続	A	オムツ替えがしやすいようにするなど、子育て世帯にやさしいトイレに改修する。	a	本庁舎において、子供用便座・床置き小便器・ベビーチェア・授乳室等を設置する。		管財課
7	公園の整備	継続	A	市民サービス向上のため、公園の施設改修や新規整備等を実施。実施公園数 23公園	a	良好な避難場所の提供や、改修、補修による安全確保を行い、市民生活の向上を図ることができた。	延べ162公園の整備及び改修、補修を実施	公園整備課
8	防犯灯の整備	継続	A	防犯灯の新設及び既設の整備を行った。 ・新設:157灯 ・修繕:136灯	a	防犯灯の新設及び既設の整備を行い、夜間における身近な犯罪の防止に努めた。	新設工事 H17:235灯・H18:216灯 H19:223灯・H20:214灯	安全安心生活課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

7-(4) 子ども等の交通安全を確保するための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	交通安全教育	拡充	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施した。 182回 21,318人	a	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施する。	18年度安全教育参加者 20,896人 19年度 17,803人 20年度 21,318人	安全安心生活課

2	児童の登校時の交通安全確保	継続	A	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。	a	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施する。	18年度朝の立哨総数 10,535回 19年度 10,344回 20年度 1 0,238回	安全安心生活課
3	シートベルトの着用	継続	A	道路交通法の改正により後部座席においても着用が義務化されたことに伴い、各交通安全運動をはじめ、県からの要請においても実施する。	a	道路交通法の改正により後部座席においても着用が義務化されたことに伴い、各交通安全運動をはじめ、県からの要請においても実施する。		安全安心生活課
4	交通安全推進団体への補助	継続	A	交通安全推進協議会・交通安全母の会・川越交通安全協会・交通指導員会	a	交通安全推進協議会に¥1,440,000・交通安全母の会に¥1,000,000・川越交通安全協会に¥500,000・交通指導員会に¥50,000を補助した。	推進協144万円・母の会100万円・安全協会50万円・交通指導員会5万円	安全安心生活課
5	交通安全運動	継続	A	春の全国交通安全運動・夏の交通事故防止運動・秋の全国交通安全運動・冬の交通事故防止運動等の実施	a	春の全国交通安全運動・夏の交通事故防止運動・秋の全国交通安全運動・冬の交通事故防止運動等の実施する	春夏秋冬に各3回	安全安心生活課
6	放置自転車対策	継続	A	子供、障害者、高齢者等の通行の妨げである駅付近の公道上の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。(市内11駅 撤去回数200回 撤去台数4,000台)	a	子供、障害者、高齢者等の通行の妨げである駅付近の公道上の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。	18年度撤去台数 5,873台 19年度 撤去台数 4,685台 20年度撤去台数 3,092台	安全安心生活課
7	チャイルドシートの使用	継続	A	チャイルドシート購入費補助制度の実施 チャイルドシート着用促進運動の実施	a	チャイルドシート購入費補助制度の実施 チャイルドシート着用促進運動の実施	補助件数 17年度 694件 18年度810 件 19年度869件 20年度847件	安全安心生活課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

7-(5) 子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策	拡充	A	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚、安全な地域コミュニティの推進強化に努めている。 ・No.2～11の事業の展開	a	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚、安全な地域コミュニティの推進を図った。 ・No.2～11の事業の展開	市内の犯罪認知件数 ・H17:7,836件 ・H18:7,226件 ・H19:6,654件 ・H20:6,152件	安全安心生活課
2	庁内における防犯推進体制	継続	A	関係部署を中心に、行政における防犯推進体制の整備・充実を図っている。また、主に防犯パトロール支援車をはじめとする公用車を活用しての巡回を実施している。	a	関係部署を中心に、行政における防犯推進体制の整備・充実を図った。主に防犯パトロール支援車をはじめとする公用車を活用しての巡回を実施した。	防犯推進庁内会議等の開催:6回 青色回転灯装備車両台数:4台	安全安心生活課

3	地域における防犯推進体制	継続	A	自治会・事業所を中心に、地域における防犯推進体制の整備・促進の強化に努めている。	a	自治会・事業所を中心に、地域における防犯推進体制の整備・促進の強化に努めた。	重点地域の指定:1地区 強化地域の指定:6地域 防犯のまちづくりに関する協定締結事業所:8企業等	安全安心生活課
4	防犯体制	継続	A	埼玉県、埼玉県警察等の関係機関との連携強化に努めている。	a	埼玉県、埼玉県警察等の関係機関との連携強化に努めた。		安全安心生活課
5	防犯協会、暴力排除推進協議会への補助	継続	A	防犯関係団体との連携強化を図っている。	a	防犯関係団体との連携強化を図った。	川越防犯協会への運営助成:36,000千円 川越市暴力排除推進協議会負担金:9,600千円	安全安心生活課
6	犯罪情報・防犯情報	継続	A	様々なメディアを活用して、犯罪情報や防犯情報の積極的、効果的な提供に努めている。	a	様々なメディアを活用して、犯罪情報や防犯情報の積極的、効果的な提供に努めた。	「小江戸川越防犯のまちづくり情報」メール配信サービスの登録者数:9,187件(H21.3.末)	安全安心生活課
7	防犯並びに暴力排除推進大会	継続	A	防犯関係団体、地域防犯推進委員及び事業所等の関係者を対象に、10月23日(金)、市民会館において開催を予定している。	a	毎年度、防犯関係団体、地域防犯推進委員及び事業所等の関係者を対象に開催した。	開催数:5回	安全安心生活課
8	防犯に関する普及啓発活動	継続	A	効果的な広報媒体等を活用し、市民の防犯意識の高揚を図っている。	a	効果的な広報媒体等を活用し、市民の防犯意識の高揚を図った。		安全安心生活課
9	地域安全協定に基づく防犯パトロール活動	継続	A	協定締結事業所車両等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施している。	a	協定締結事業所車両等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施した。	約600台の事業所車両に「防犯パトロール」と表示したマグネットシートを貼付	安全安心生活課
10	市公用車による防犯パトロール	継続	A	市公用車等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施している。	a	市公用車等による通常業務を通じての防犯パトロールを実施した。	公用車346台と公用電気自転車30台に「防犯パトロール中」等と表示したマグネットシートを貼付	安全安心生活課
11	地域における防犯活動	継続	A	自治会等を中心に自主防犯活動の促進、支援に努めている。 ・防犯パトロール用資機材の提供 ・防犯のまちづくり出前講座の開催	a	自治会等を中心に自主防犯活動の促進、支援に努めた。 ・防犯パトロール用資機材の提供 ・防犯のまちづくり出前講座の開催	平成20年度の月1回以上活動している自治会:251・PTA:36	安全安心生活課
12	防犯実技研修会	継続	A	スクールガード養成講習会を11月に実施し、不審者対応の実技講習を行った。	a	具体的な護身術の講習を行うことで、防犯意識の啓発と今後の対応に効果的であった。	開催数 1回 参加人数96名	教育指導課
13	CAPプログラム	継続	D	実施予定なし	b	平成20年度に講演会を実施し、子どもの虐待・犯罪被害等の防止のため啓発活動を実施した。	H20 CAPプログラム講演会 パネル展示	子育て支援課

14	「子ども110番の家」 (5-(3)-13の再掲)	継続	A	青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付する。 ・子ども110番実施地区会議 17地区会議	a	子ども110番の家事業の実施により、子供たちにとって安全で安心な環境づくりが図られた。	青少年課
----	------------------------------	----	---	--	---	---	------

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【達成状況】 a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

7-(6) 被害に遭った子どもの支援の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成21年度末 進捗状況(見込)	平成21年度の事業実績(見込) 【目標事業量に対する実績値】	前期計画 達成状況(見込)	前期計画事業実績(見込)		所管課
						実績評価	既存統計データ	
1	犯罪被害者支援推進協議会への補助	継続	A	犯罪被害者支援関係団体との連携に努めている。	a	犯罪被害者支援関係団体との連携に努めた。	川越市犯罪被害者支援推進協議会への助成: 1,440千円	安全安心生活課
2	家庭児童相談 (5-(1)-9の再掲)	継続	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。	a	相談業務とともに養育支援訪問事業の立ち上げで、継続的で包括的な相談体制を確立できるよう努めた。	(各年度3月末現在) H17 3558件 H18 3404件 H19 2668件 H20 3443件 H21 3500件 (H21は見込み)	子育て支援課

3	要保護児童対策地域協議会 (児童虐待防止ネットワーク会議) (6-(1)-3の再掲)	拡充	A	要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、当協議会において関係機関や関係者が情報や考え方を共有し、適切な連携の下で、要保護児童支援を行うため協議した。	a	川越市児童虐待防止ネットワーク会議をH17年12月1日川越市要保護児童対策地域協議会に改め、虐待防止対策を強化した。	H17 代表者会議 3回 実務者会議 6回 H18 代表者会議 2回 実務者会議 6回 H19 代表者会議 2回 実務者会議 6回 H20 代表者会議 1回 実務者会議 7回 H21 代表者会議 1回 実務者会議 8回 (H21は見込み)	子育て支援課
---	--	----	---	--	---	--	---	--------